



平成 26・27 年度
群馬大学 国際教育・研究センター
活動報告書

Annual Reports

April 2014 to March 2016

Center for International Education and Research,

Gunma University



目 次

1. 活動報告書の発刊にあたって	1
2. 国際教育・研究センターの組織	2
2-1 センター組織図	2
2-2 センターの各部門構成員	3
2-3 センターの構成員	5
3. 国際教育・研究センターの業務	7
3-1 各部門の主な業務	7
3-1-1 国際企画部門	7
3-1-2 研究国際交流部門	7
3-1-3 学生国際交流部門	7
3-2 各部門の主な活動	8
3-2-1 国際企画部門	8
(1) 大学間協定	8
(2) 学部間協定	9
3-2-2 研究国際交流部門	14
(1) 本学における国際共同研究	14
3-2-3 学生国際交流部門	15
(1) 教育プログラム	15
(2) 留学生相談・海外留学相談	23
(3) 短期研修	27
(4) 群馬大学海外留学フェア	29
(5) 日本留学フェア・進学説明会	32
(6) 群馬大学国際合同研修 (インターナショナルキャンプ)	34
(7) 群馬大学外国人留学生等実地研修旅行	35
(8) インターナショナルラウンジ (桐生)	36
(9) 留学生サポートデスク (荒牧)	38
(10) 外部会議出席	49
3-2-4 地域貢献・社会貢献	40
(1) 留学生派遣事業 (地域貢献事業)	40
(2) 教員による地域支援事業	41

4. 学生、教職員の国際交流に関するデータ	42
4-1 外国人留学生の推移	42
4-2 学生の国際交流	44
4-2-1 派遣	44
4-2-2 受入	46
4-3 教職員の国際交流	47
4-3-1 派遣	47
4-3-2 受入	48
5. 奨学金	50
5-1 各種奨学金の受給状況	50
5-2 私費留学生の奨学金受給比率	51
6. 国際教育・研究センター発行の出版物	52
7. 国際教育・研究センター行事	53

活動報告書の発刊にあたって

国際教育・研究センター長 末松美知子

国際教育・研究センターでは、平成 26 年度に初めて活動報告書を発刊しており、今回が 2 報目の報告書となります。今回は平成 25 年度 1 年間の報告でしたが、今回は平成 26-27 年度 2 年間の成果をご報告いたします。報告書前半には、センターの 3 つの部門、国際企画部門・研究国際交流部門・学生交流部門の活動報告とセンターの地域貢献活動報告を、後半には、この 2 年間の国際交流の推移を示すデータ等を掲載いたしました。

センター及び国際交流関連の委員会では地道な活動を積み重ねてまいりましたが、昨今の経済状況の厳しさもあり、派遣・受入学生数の状況は決して楽観視できるものではありません。平成 28 年度からの群馬大学第 3 期中期目標でもグローバル化に関する明確な目標が掲げられ、さらなる国際交流の推進が求められております。

今後のセンターの活動の改善を図り第 3 期中期目標を達成するため、この報告書をご覧いただき、センターへのご意見やご提言をお寄せください。

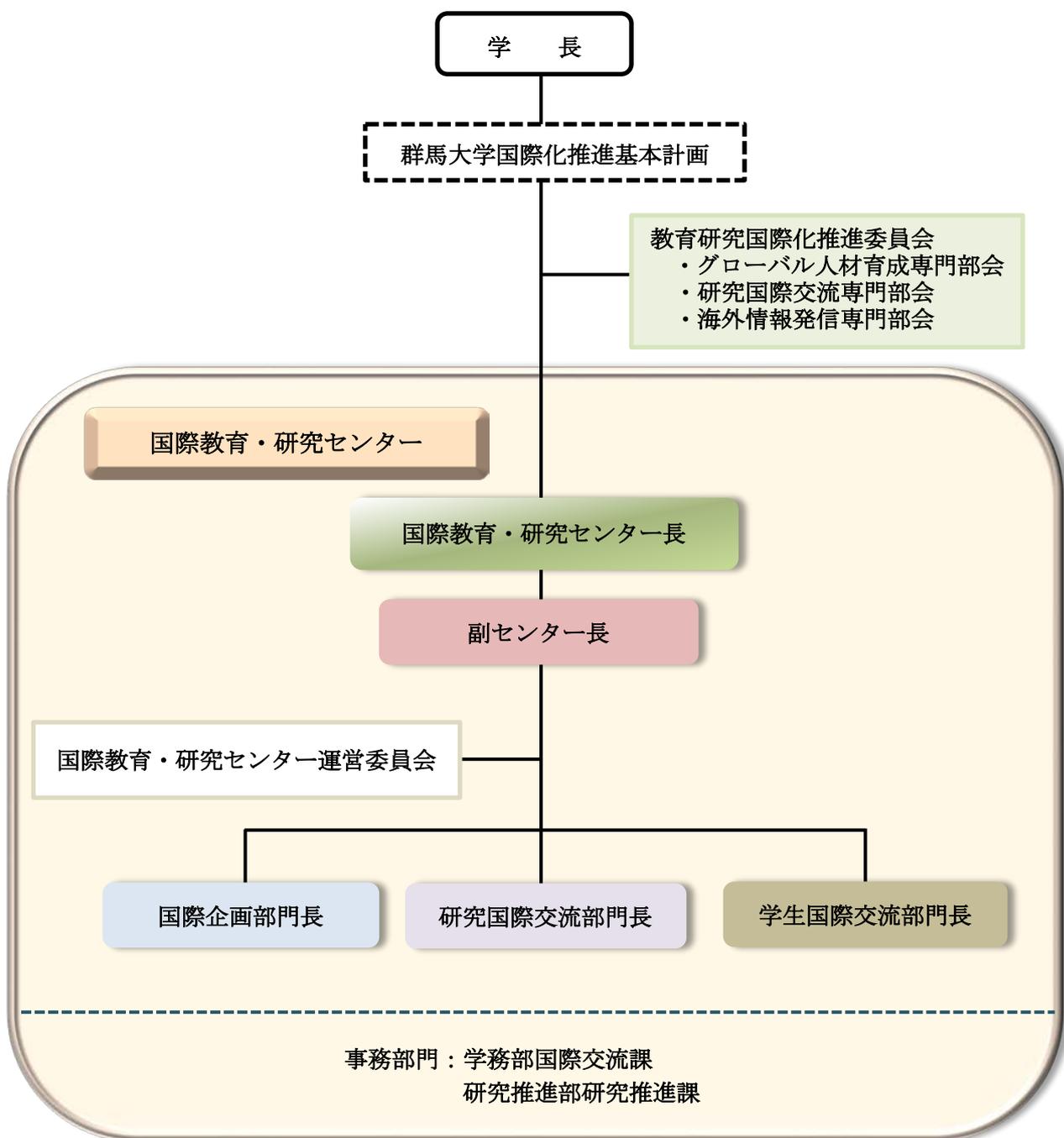
今後も国際教育・研究センターの活動にご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2. 国際教育・研究センターの組織

国際教育・研究センターは、本学における教育及び研究の国際交流の推進に寄与することを目的とした学内共同教育研究施設であり、センターには次の3部門が置かれている。

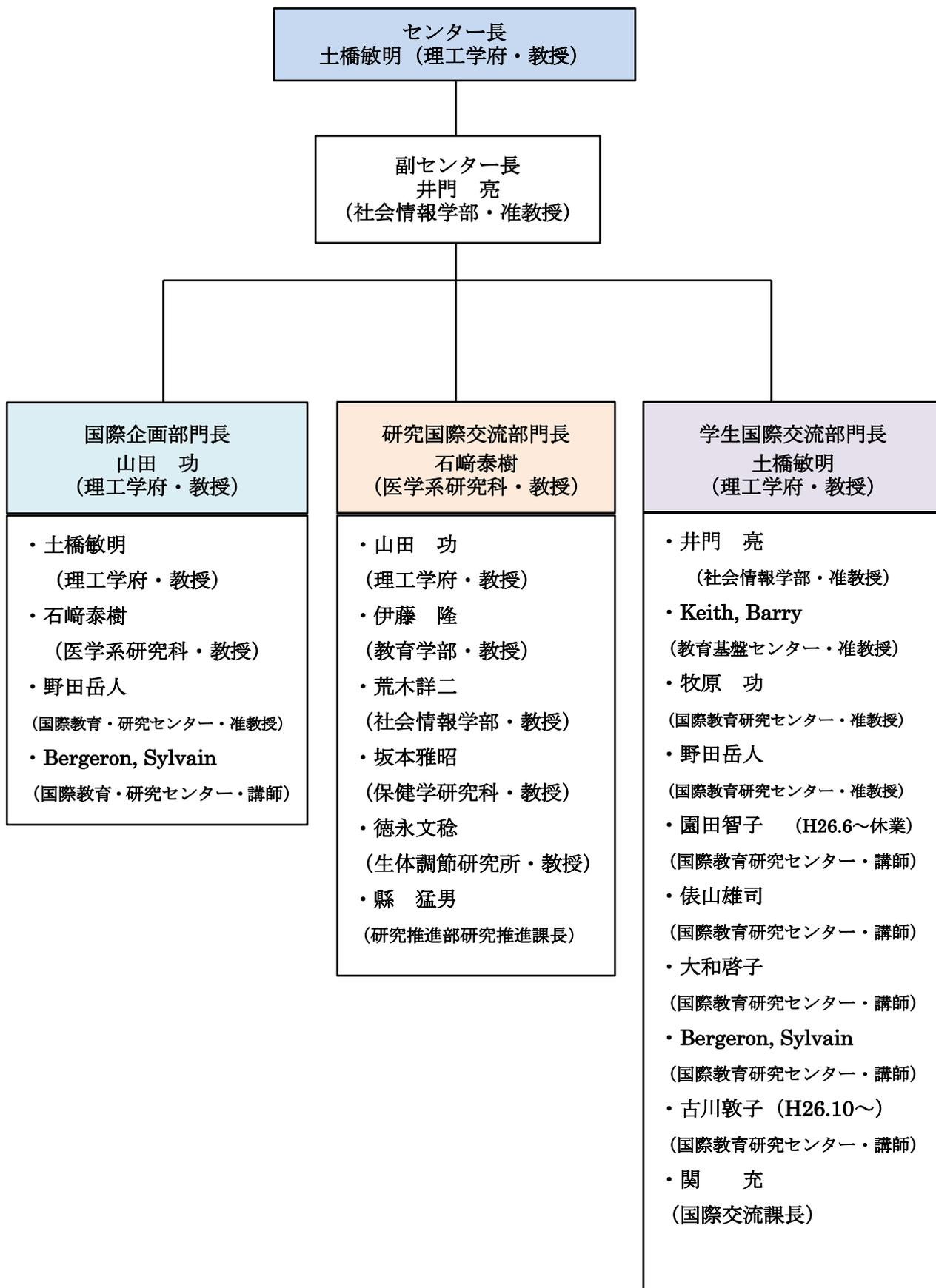
- 1) 国際企画部門
- 2) 研究国際交流部門
- 3) 学生国際交流部門

2-1 国際教育・研究センターの組織図

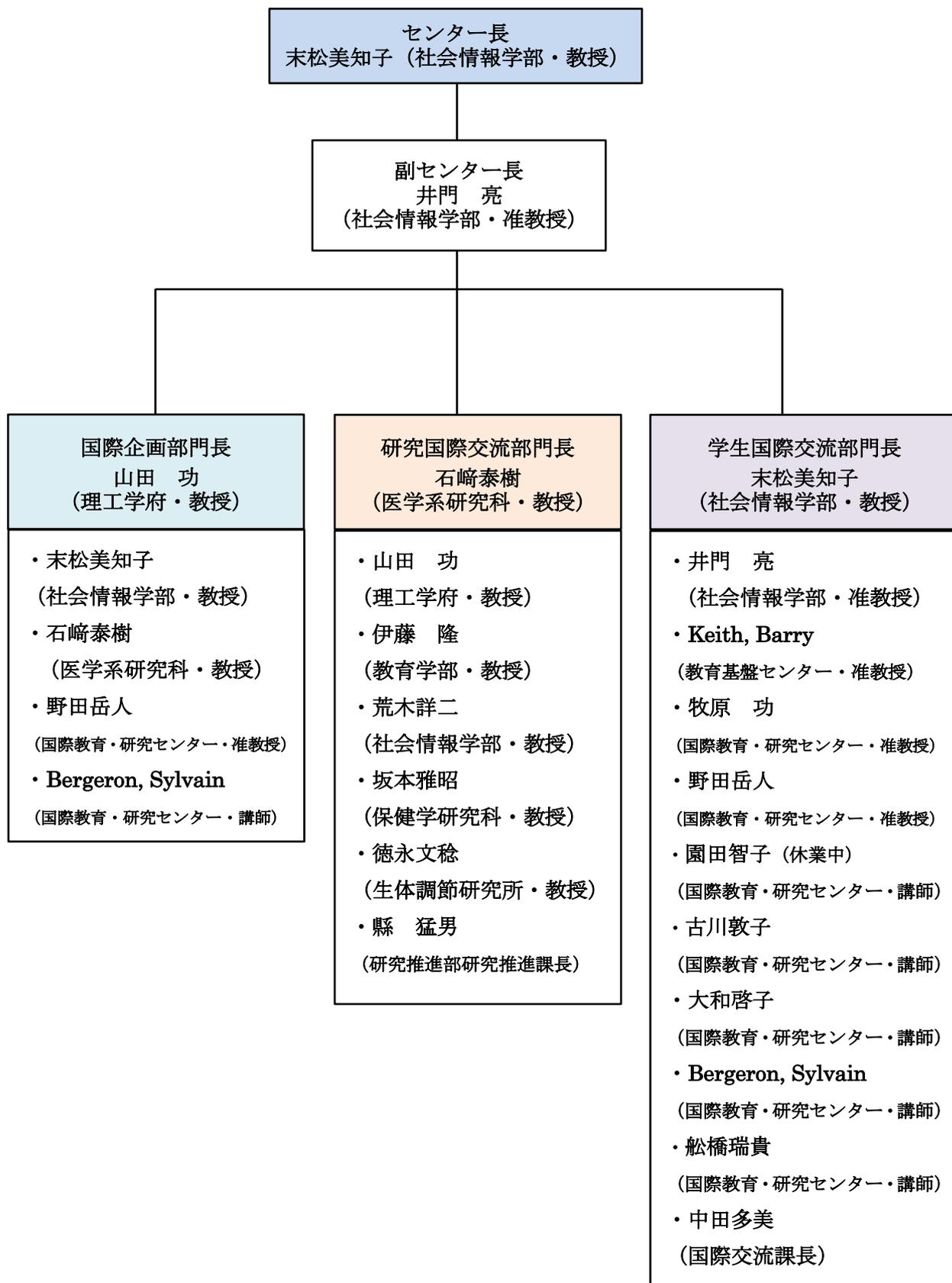


2-2 国際教育・研究センターの各部門構成員

【平成 26 年度】



【平成 27 年度】



2-3 国際教育・研究センターの構成員

平成26年4月1日

所属・職名		氏 名	専門分野・担当
センター長（兼） 学生国際交流部門長（兼） （理工学研究院・教授）		土橋 敏明	専門：高分子物理化学、バイオレオロジー、ゲル物性
副センター長（兼） （社会情報学部・准教授）		井門 亮	専門：英語学、語用論
国際企画部門長（兼） （理工学府・教授）		山田 功	専門：システム制御理論とその応用、機械・ロボットの制御、機械の知的制御
研究国際交流部門長（兼） （医学系研究科・教授）		石崎 泰樹	専門：分子細胞生物学、生化学、神経生物学
学生国際 交流部門	准教授	野田 岳人	専門：専門日本語教育、国際関係論 担当：教養教育、日本語・日本文化研修プログラム
	准教授	牧原 功	専門：日本語教育学、言語学 担当：予備教育コース
	講 師	園田 智子	専門：異文化間教育学、日本語教育学 担当：留学生相談（H26.6～休業）
	講 師	俵山 雄司	専門：日本語教育学、日本語学 担当：日本語補講コース
	講 師	大和 啓子	専門：日本語教育学、言語学 担当：日本語補講コース
	講 師	Bergeron, Sylvain	専門：英語教授学
	講 師	古川 敦子	専門：日本語教育学 担当：日本語補講コース（H26.10～）

平成27年4月1日

所属・職名		氏 名	専門分野・担当
センター長（兼） 学生国際交流部門長（兼） （社会情報学部・教授）		末松美知子	専門：英国演劇、比較演劇
副センター長（兼） （社会情報学部・准教授）		井門 亮	専門：英語学、語用論
国際企画部門長（兼） （理工学府・教授）		山田 功	専門：システム制御理論とその応用、機械・ロボットの制御、機械の知的制御
研究国際交流部門長（兼） （医学系研究科・教授）		石崎 泰樹	専門：分子細胞生物学、生化学、神経生物学
学生国際 交流部門	准教授	野田 岳人	専門：専門日本語教育、国際関係論 担当：教養教育、日本語・日本文化研修プログラム
	准教授	牧原 功	専門：日本語教育学、言語学 担当：予備教育コース
	講 師	園田 智子	専門：異文化間教育学、日本語教育学 担当：留学生相談（休業中）
	講 師	古川 敦子	専門：日本語教育学 担当：日本語補講コース
	講 師	船橋 瑞貴	専門：日本語教育学、日本語学 担当：日本語補講コース
	講 師	大和 啓子	専門：日本語教育学、言語学 担当：日本語補講コース
	講 師	Bergeron, Sylvain	専門：英語教授学

3. 国際教育・研究センターの業務

3-1 各部門の主な業務

センター各部門では以下の主な業務を行っている。

3-1-1 国際企画部門

- (1) 国際的な組織間協定の締結に関すること。
- (2) 国際的な学术交流のための企画・運営及び調査・研究に関すること。
- (3) その他国際交流に関し必要な事項（研究国際交流部門及び学生国際交流部門に関することを除く。）

3-1-2 研究国際交流部門

- (1) 外国人研究者の受入の推進に関すること。
- (2) 研究者の海外派遣に関すること。
- (3) その他研究の国際交流に関し必要な事項

3-1-3 学生国際交流部門

- (1) 学生の海外派遣プログラムの企画・運営及び実施に関すること。
- (2) 学生の海外派遣における修学及び生活に係る助言並びに事前研修プログラム等の支援に関すること。
- (3) 外国人留学生に対する教育プログラム及び研修事業の企画・運営及び実施に関すること。
- (4) 外国人留学生の受入れ、修学及び生活に係る指導・相談に関すること。
- (5) 日本語・日本事情教育及びその関係領域に関する調査・研究に関すること。
- (6) その他学生の国際交流に関し必要な事項

3-2 各部門の主な活動

3-2-1 国際企画部門

本学では、教育研究活動の国際化を進めるために、海外の大学、研究機関と学術交流協定を締結し、交流の促進に努めている。

平成 27年度現在で20カ国1地域40の大学・機関と大学間協定、19カ国1地域、79の大学・機関と学部間協定を締結し、学生交流及び研究交流を推進している。

(1) 大学間協定

平成27年度現在

国名	大学等名	協定締結年月日
中華人民共和国	西安交通大学	H13.12.4
	廈門大学	H14.9.19
	沈阳化工大学	H15.3.31
	華北電力大学	H17.5.22
	大連医科大学	H18.7.12
	大連理工大学	H19.1.30
	大連工業大学	H19.9.26
	中国科学院過程工程研究所	H20.7.16
	重慶交通大学	H21.3.25
	海南大学	H21.7.29
大韓民国	嶺南大学校	H15.9.5
	建国大学校	H19.3.6
	韓国原子力医学院	H19.10.18
	ソウル大学校	H20.10.27
台湾	東海大学	H15.6.27
	国立台北教育大学	H18.3.24
	国立虎尾科技大学	H25.1.21
フィリピン	フィリピン大学マニラ校	H21.2.16
インドネシア	パジャジャラン大学	H8.9.20
	インドネシア教育大学	H21.3.16
バングラデッシュ	ダッカ大学	H22.12.12
タイ	チェンマイ大学	H19.9.11
シンガポール	南洋理工大学	H27.3.22
インド	アリガルモスリム大学	H18.3.22
	インド工科大学デリー校	H22.1.18
スロベニア	リュブリャナ大学	H20.9.19
イギリス	(旧北東ウェールズ高等教育インスティテュート) グリンドゥール大学	(S62.3.17) H20年度～

フランス	地中海大学 (マルセイユ大学 II)	H17.7.25
イタリア	フィレンツェ大学	H15.4.16
アゼルバイジャン	バクー国立大学	H21.1.27
チェコ共和国	オストラバ工科大学	H27.10.29 (～ H27.10.28 学部間協定)
オーストラリア	マッコーリー大学	H15.6.7
	ウーロンゴン大学	H26.7.15
アメリカ	ノースダコタ州立大学	H22.5.27
	サンディエゴ州立大学	H23.3.3
	ニューヨーク州立大学ストーニーブルック校	H25.7.12
ニカラグア	ニカラグア国立自治大学マナグア校	H17.7.1
ブラジル	サンパウロ大学	H21.2.20
ペルー	ペルーポンティフィシアカトリック大学	H20.3.25
モンゴル	(旧モンゴル健康科学大学) モンゴル国立医科学大学	(H24.10.5) H26.6～

(2) 学部間協定

平成27年度現在

部局等名	国名	大学等名	協定締結 年月日
教育学部	アメリカ	ミズーリ州立大学	H27.3.6
		モアヘッド州立大学	H27.12.26
	リトアニア	リトアニア教育大学	H27.11.25
	大韓民国	大邱大学	H28.3.29
社会情報学部	イギリス	サンダーランド大学	H14.7.3
	ハンガリー	カーロリ・ガーシュパール・カル ビン派大学	H22.3.17
	ポーランド	ヤギェウォ大学	H24.3.29
	クロアチア	ザグレブ大学人文社会学部	H26.7.3
	台湾	世新大学	H27.12.28
医学部 (※1 医療技術 短期大学部)	アメリカ	シアトル・パシフィック大学	H8.10.1
医学部	カナダ	オタワ大学	H13.11.26
	アメリカ	ワシントン大学	H14.4.2
大学院医学系研 究科	中華人民共和国	南開大学生命科学学院	H14.11.2
	カナダ	ブリティッシュコロンビア大学	H16.3.31
	コロンビア	サバナ大学	H16.4.20
	ロシア	クラスノヤルスク医科大学	H19.4.15

	アメリカ	マーシャル大学生物学部	H21.6.29
大学院医学系研究科	ドイツ	ルール大学ボーフム医学部胸部・心疾患外科クリニック及び心臓・糖尿病センター	H26.9.3
	ベルギー	リエージュ大学医学部並びにゲノプロテオミックス学際応用グループ	H26.10.2
大学院保健学研究科	アメリカ	ピュージェットサウンド大学	H23.10.28
	タイ	ランシット大学	H28.1.21
	大韓民国	仁濟大学校	H28.2.29
附属病院	中華人民共和国	中日友好病院	H28.1.21
※2 工学部	イギリス	シティ大学	H6.1.27
	中華人民共和国	中山大学化学・化学工程学院	H17.11.2
	アメリカ	ワシントン大学	H18.6.26
	台湾	龍華科技大学工程学院	H18.12.13
	ベトナム	ハノイ工科大学	H20.1.23
	中華人民共和国	合肥工業大学	H20.2.23
	中華人民共和国	上海理工大学光学・電子情報工程学院	H20.7.28
	マレーシア	マレーシア国立大学	H21.2.23
	中華人民共和国	河北工業大学材料学院	H22.3.20
※3 大学院工学研究科	中華人民共和国	上海交通大学	H20.3.25
	中華人民共和国	成都理工大学地質災害防止及び地質環境保護国家重点實驗室	H20.10.8
	タイ	モンクット王ラカバン工科大学	H20.12.12
	中華人民共和国	中国鋳業大学	H21.1.23
	フランス	モンペリエ大学国立化学大学院	H21.2.11
	中華人民共和国	東北大学理学院	H21.2.28
	フランス	パリ電気電子エンジニア高等学院	H21.3.2
	中華人民共和国	清華大学機械工程学院	H21.3.29
	タイ	ラジャマンガラ工科大学産業工学部	H21.5.26
	中華人民共和国	西南交通大学機械工学部	H21.7.1
	タイ	泰日工業大学	H21.7.21
	大韓民国	木浦大学校工学部	H21.8.17
中華人民共和国	湖南科技大学	H21.10.16	

	大韓民国	慶熙大学校工科大学	H21.12.14
	台湾	国立虎尾科技大学工学部、電気・情報工学部	H22.1.26
	タイ	マヒドン大学理学部	H23.2.22
	大韓民国	壇国大学校光機能エネルギー材料センター	H21.5.22
	タイ	ナコンパトムラチャット大学理工学部	H24.2.2
	スウェーデン	ボローズ大学工学部	H24.2.22
	大韓民国	延世大学校科学技術大学	H24.5.2
	中華人民共和国	揚州大学エネルギー源と動力工程学院	H24.6.26
	タイ	チュラロンコン大学工学部	H24.1.24
	大韓民国	延世大学校工科大学	H25.1.30
	ベトナム	ベトナム原子力研究所ハノイ照射センター	H25.2.23
	中華人民共和国	揚州大学情報工程学院	H25.1.30
※4 理工学研究 院	タイ	モンクット王トンブリ工科大学	H25.5.10
	中華人民共和国	廈門理工学院光電通信工程学院	H25.7.22
	マレーシア	ペトロナス工科大学	H25.7.30
	タイ	ラジャマンガラ工科大学工学部	H26.1.28
	スペイン	バレンシア工科大学	H26.2.19
理工学府	台湾	義守大学医学部	H26.5.27
	ロシア	サラトフ農業大学食品工学 商品学部	H26.9.1
	マレーシア	パハン大学	H26.9.9
	中華人民共和国	天津大学精密儀器と光電子工学院	H26.11.7
	台湾	国立勤益科技大学	H27.4.30
	マレーシア	マラ技術大学トレンガヌ校	H27.6.5
	大韓民国	忠南大学校	H27.8.11
	ベルギー	リエージュ大学	H27.8.14
生体調節研究所	大韓民国	全南国立大学ホルモン研究センター	H8.12.4
	大韓民国	釜山国立大学	H18.4.17
	中華人民共和国	内蒙古大学生命科学学部	H19.2.13
	中華人民共和国	湖南大学生物学部	H28.1.6
重粒子線医学研究センター	アメリカ	マサチューセッツ総合病院 Francis H.Burr 陽子線治療センター	H20.5.6

	アメリカ	d/b/a メイヨクリニック メイヨクリニックロチェスター 放射線腫瘍学科	H20.10.23
	ドイツ	ドイツ重イオン研究所ヘルムホルツセンター	H20.11.18
ケイ素科学国際 教育研究 センター	大韓民国	韓国先端ケイ素材料研究教育センター	H21.2.3
未来先端研究機構	スウェーデン	カロリンスカ研究所	H27.11.11

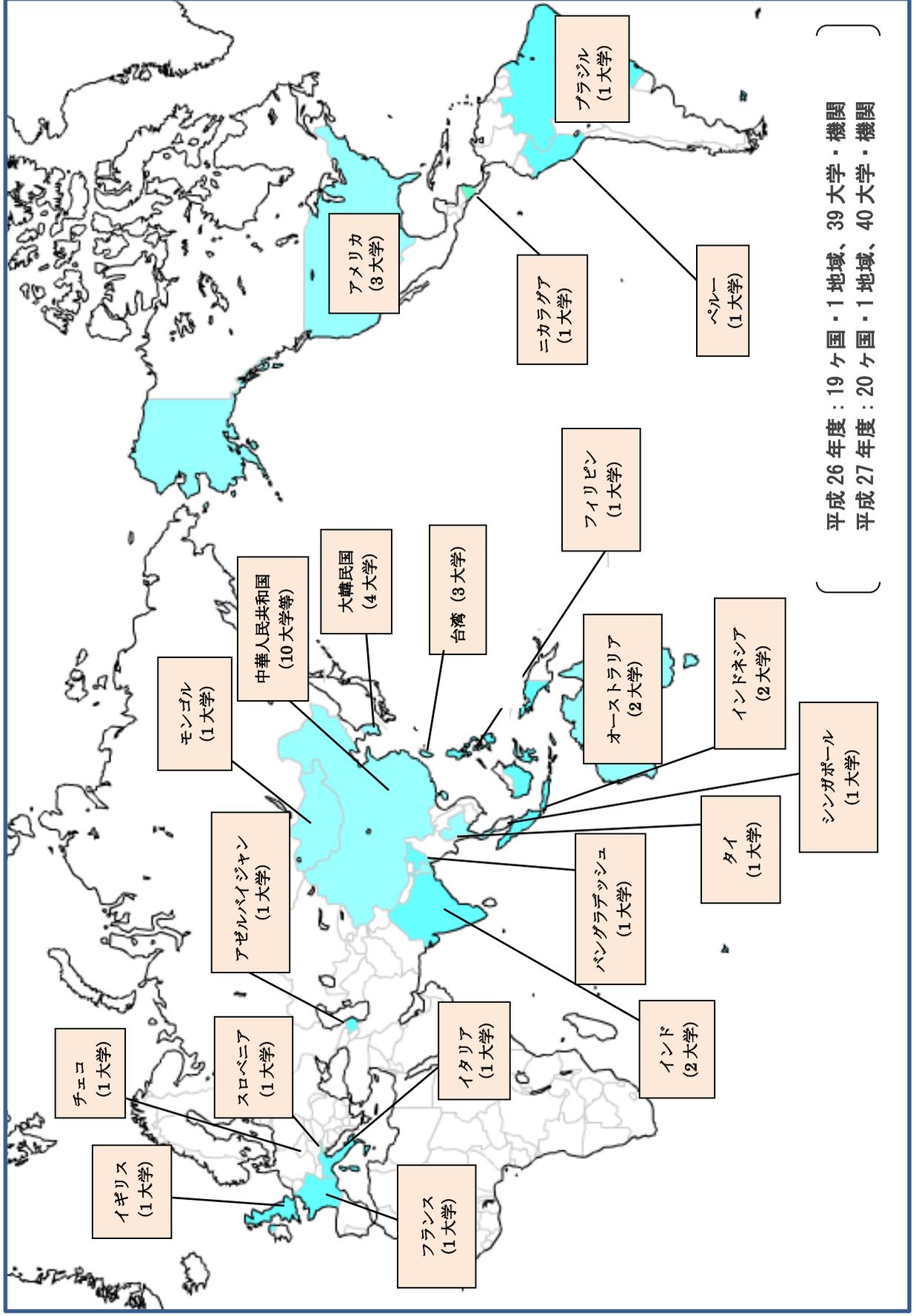
※1 医療技術短期大学部は、H12.3.に廃止

※2 工学部は、H25.4 に理工学部へ改組

※3 大学院工学研究科は、H25.4 に大学院理工学府及び理工学研究院へ改組

※4 理工学研究院は、H26.3 に廃止

大学間協定締結国及び地域



平成26年度：19ヶ国・1地域、39大学・機関
平成27年度：20ヶ国・1地域、40大学・機関

3-2-2 研究国際交流部門

(1) 本学における国際共同研究

本学における研究国際交流事業の主な採択状況は以下のとおりである。

また、海外研究機関等との国際共同研究の実施状況を全学的に把握するため、今後調査を実施する予定である。

① 日本学術振興会(JSPS)事業

平成27年度現在

No.	プログラム名	申請年度	所属	氏名	採用期間
1	外国人招へい研究者（短期）	平成26年度	大学院医学系研究科	柳川右千夫	H27.3.16-H27.3.30
2	外国人特別研究員（一般）	平成25年度	生体調節研究所	泉哲郎	H26.4.1-H27.12.31
3	二国間交流事業オープンパートナーシップ共同研究	平成25年度	大学院医学系研究科	金子涼輔	H26.7.1-H28.6.30
4	二国間交流事業韓国との共同研究(NRF)	平成23年度	生体調節研究所	岡島史和	H24.7.1-H26.6.30
5	二国間交流事業韓国との共同セミナー(NRF)	平成25年度	大学院理工学府	宝田恭之	H26.8.24-H26.8.27
6	若手研究者戦略的海外派遣事業費補助金 頭脳循環を加速する若手研究者戦略的海外派遣プログラム	平成25年度	大学院医学系研究科	中野隆史	H25-H27
7	国際共同研究加速基金	平成27年度	医学部附属病院	成田耕介	H27-

② 科学技術振興機構（JST）事業

平成27年度現在

No.	プログラム名	年度	所属	氏名	採用期間
1	科学技術戦略推進費補助金事業 途上国におけるイノベーションを促進する国際協力の戦略的推進ウガンダにおけるマラリアワクチンの臨床研究拠点形成	平成24年度	大学院医学系研究科	久枝一	H24-H28

③ 科学技術振興機構・国際協力機構（JST, JICA）事業

平成27年度現在

No.	プログラム名	年度	所属	氏名	採用期間
1	地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム（SATREPS事業）	平成24年度	大学院理工学府	野田玲治	JST H25.5.20-H30.3.31 JICA H26.6.13-H31.6.12

3-2-3 学生国際交流部門

(1) 教育プログラム

群馬大学国際教育・研究センターが開講している教育プログラムには、日本語授業と日本文化に関わる授業とがある。日本語授業は学習者のレベルに応じて、荒牧、桐生、昭和の各キャンパスで開講されている。日本文化に関わる授業は荒牧地区において、日本研究「武道・芸術」実践プログラム、Jプログラムという名称で開講されている。

【日本語授業】

群馬大学は、留学生を対象に以下の日本語コースを開講している。

1. 学部留学生のための外国語科目としての日本語コース（教養科目）[荒牧地区]
2. 学部・研究科開講日本語科目 [荒牧地区・昭和地区]
3. 大使館推薦国費外国人留学生などのための大学院予備教育集中コース [荒牧地区]
4. 大学院留学生のための補講科目としての日本語コース [昭和地区、桐生地区]
5. その他のプログラムによる日本語コース

1. および 2. では、国際教育・研究センターの教員は授業担当者であり、開講主体は群馬大学教育基盤センター（現、大学教育センター）、各学部、研究科である。

平成 27 年度は、5. の特別なプログラムによる日本語コースは開講されなかった。以下では、国際教育・研究センターが開講する日本語授業である 3. 4. について、概要を報告する。表の授業時間は 1 回あたりの授業時間であり 1 コマを 2 時間換算で記載、授業回数は 1 学期間の授業となっている。

I. 大使館推薦国費外国人留学生などのための大学院予備教育集中コース [荒牧地区]

対象学生：大使館推薦等の国費外国人留学生、交換留学生

コース目標：対象学習者の日本語レベルによって以下の 2 つにわかれる。

[ゼロスタートの学習者を対象とした場合]

日常生活や研究室での日本人との会話が行えるようにし、コース修了後更に日本語学習を継続する学習者が円滑に日本語習得を進められるよう、基礎的な日本語の知識を習得させることを目標とする。

[来日目的が単位互換制度等を利用し群馬大学が開講する日本人学生対象の授業を履修し専門知識等を身につけることであるが、それらの授業に参加するための十分な日本語能力を身につけていないと判断される学生の場合]

集中的に日本語教育を実施し、コース修了後、日本人学生対象の授業に参加し教育研究活動が円滑に行えるようにすることを目標とする。

なお、26 年度、27 年度ともに、初中級～中級前期レベルの学習者対象のクラスのみ開講された。

実施期間：平成 26 年 10 月～平成 27 年 2 月までの 16 週間

平成 27 年 10 月～平成 28 年 2 月までの 16 週間

開講授業：平成26年度、27年度

科目名	授業時間	授業回数	授業概要
総合	4時間	128回	中級レベルの日本語能力の育成を目指し、日本語能力の総合的なトレーニングを実施した
作文	2時間	16回	レポート作成等のための作文のトレーニングを実施した
会話	2時間	16回	日常生活で、場面や状況に応じた適切な会話をするためのトレーニングを実施した
漢字A	2時間	16回	中級レベル以上の漢字の習得を目指して実施した
漢字B	2時間	16回	主に非漢字圏からの学習者を対象に、中級レベルまでの漢字の習得を目指して実施した

II. 大学院留学生のための補講科目としての日本語コース [桐生地区、昭和地区]

① 桐生地区

対象学生：学部／大学院留学生、研究生、交換留学生

コース目標：

受講生各自のレベルに合わせて、コミュニケーションの相手に不快感を与えずに効率的に伝達の目標を達成することができる言語能力・副言語能力の養成を図る。

実施期間：

平成26年度

平成26年4月～平成26年8月までの15週間および平成26年10月～平成27年2月までの15週間

平成27年度

平成27年4月～平成27年8月までの15週間および平成27年10月～平成28年2月までの15週間

平成26年度前期開講授業：

科目名	授業時間	授業回数	授業概要
初級I-II	10時間	75回	未習者と初級前半の学生を対象とした、総合的な日本語能力の伸長を目的としたクラス
初級III-IV	8時間	60回	初級後半学生を対象とした、総合的な日本語能力の伸長を目的としたクラス
中級総合I	2時間	15回	初中級の学生を対象とした、総合的な日本語能力の伸長を目的としたクラス
中級会話	2時間	15回	初中級の学生を対象とした、会話の流れや表現の習得を目的としたクラス

中級総合Ⅱ	2時間	15回	中級前半の学生を対象とした、総合的な日本語能力の伸長を目的としたクラス
中級作文	2時間	15回	初級終了程度の学生を対象とした、400字程度の長さの文章を書くことを目的としたクラス
ビジネス日本語A	2時間	15回	中級修了程度の学生を対象とした、電話マナー・語彙・フレーズを学ぶクラス

平成 26 年度後期開講授業：

科目名	授業時間	授業回数	授業概要
初級Ⅰ-Ⅱ	10時間	75回	未習者と初級前半の学生を対象とした、総合的な日本語能力の伸長を目的としたクラス
初級Ⅲ-Ⅳ	8時間	60回	初級後半学生を対象とした、総合的な日本語能力の伸長を目的としたクラス
中級会話	2時間	15回	初中級の学生を対象とした、会話の流れや表現の習得を目的としたクラス
中級総合Ⅱ	2時間	15回	中級前半の学生を対象とした、総合的な日本語能力の伸長を目的としたクラス
中級作文	2時間	15回	初級終了程度の学生を対象とした、400字程度の長さの文章を書くことを目的としたクラス
ビジネス日本語B	2時間	10回	中級修了程度の学生を対象とした、BJT（ビジネス日本語能力テスト）の対策を行うクラス
ビジネス日本事情	2時間	5回	中級以上の学生を対象とした、就職活動の方法や日本企業についての知識を学ぶクラス

平成 27 年度前期開講授業：

科目名	授業時間	授業回数	授業概要
初級Ⅰ-Ⅱ	8時間	60回	未習者と初級前半の学生を対象とした、総合的な日本語能力の伸長を目的としたクラス
初級Ⅲ-Ⅳ	8時間	60回	初級後半学生を対象とした、総合的な日本語能力の伸長を目的としたクラス
中級総合Ⅰ	2時間	15回	初中級の学生を対象とした、総合的な日本語能力の伸長を目的としたクラス
中級会話	2時間	15回	初中級の学生を対象とした、会話の流れや表現の習得を目的としたクラス
中級総合Ⅱ	2時間	15回	中級前半の学生を対象とした、総合的な日本語能力の伸長を目的としたクラス

中級作文	2 時間	15 回	初級終了程度の学生を対象とした、400 字程度の長さの文章を書くことを目的としたクラス
ビジネス日本語A	2 時間	15 回	中級修了程度の学生を対象とした、電話マナー・語彙・フレーズを学ぶクラス

平成 27 年度後期開講授業：

科目名	授業時間	授業回数	授 業 概 要
初級 I - II	8 時間	60 回	未習者と初級前半の学生を対象とした、総合的な日本語能力の伸長を目的としたクラス
初級 III-IV	8 時間	60 回	初級後半学生を対象とした、総合的な日本語能力の伸長を目的としたクラス
中級総合 I	2 時間	15 回	初中級の学生を対象とした、総合的な日本語能力の伸長を目的としたクラス
中級会話	2 時間	15 回	初中級の学生を対象とした、会話の流れや表現の習得を目的としたクラス
中級総合 II	2 時間	15 回	中級前半の学生を対象とした、総合的な日本語能力の伸長を目的としたクラス
中級作文	2 時間	15 回	初級終了程度の学生を対象とした、400 字程度の長さの文章を書くことを目的としたクラス
ビジネス日本語B	2 時間	15 回	中級修了程度の学生を対象とした、BJT (ビジネス日本語能力テスト)の対策とプレゼンテーションスキルを学ぶクラス
漢字	2 時間	15 回	漢字 200 字程度の知識を持つ学生を対象とした、500 字の読み・書きの習得を目的としたクラス

② 昭和地区 (日本語補講コース)

対象学生：大学院留学生、研究生

コース目標：

日本語の基本的な読み書きを学び、日常生活や研究室で日本人とのコミュニケーションが行えるようになるための、基礎的な日本語の知識を習得させることを目的とする。

実施期間：

平成 26 年度

平成 26 年 4 月～平成 26 年 8 月までの 16 週間および平成 26 年 10 月～平成 27 年 2 月までの 16 週間

平成 27 年度

平成 27 年 4 月～平成 27 年 8 月までの 16 週間および平成 27 年 10 月～平成 28 年 2

月までの 16 週間

平成 26 年度前期開講授業：

科目名	授業時間	授業回数	授業概要
初級Ⅰ	2 時間	16 回	初学者を対象に日本語の文字、基礎的な文型、表現の習得、口頭運用練習を中心に行った
初級Ⅱ	4 時間	32 回	初級前半レベルの学生を対象に日本語文型、表現の習得、口頭運用練習を中心に行った
初級Ⅲ	2 時間	16 回	初級前半レベルの学生を対象に日本語文型、表現の習得、口頭運用練習を中心に行った
初中級	2 時間	16 回	初級修了レベルの学生を対象に状況に適した言語行動がとれるよう会話練習を行った
漢字	2 時間	16 回	漢字初学者を対象に N5 レベルの漢字約 70 字を学習した

平成 26 年度後期開講授業：

科目名	授業時間	授業回数	授業概要
初級Ⅰ	8 時間	64 回	(基礎医学日本語との同時開講) 日本語の文字・基礎文型の習得、口頭運用練習を行った
初級Ⅱ	4 時間	32 回	初級前半レベルの学生を対象に、日本語語彙、文型の導入、口頭運用練習を中心に行った
初級Ⅲ	4 時間	32 回	初級前半終了レベルの学生を対象に、日本語語彙、文型の導入、口頭運用練習を中心に行った
初級Ⅳ	2 時間	16 回	初級後半レベルの学生を対象に、日本語語彙、文型の導入、口頭運用練習を中心に行った
漢字 1 (初級)	2 時間	16 回	漢字初学者を対象に N5 レベルの漢字約 70 字を学習した
漢字 2 (初中級)	2 時間	16 回	70 字程度の漢字既習者を対象に N4 レベルまでの漢字と関連した語彙を学習した

平成 27 年度前期開講授業：

科目名	授業時間	授業回数	授業概要
初級Ⅰ	4 時間	32 回	初学者を対象に日本語の文字、基礎的な文型、表現の習得、口頭運用練習を中心に行った
初級Ⅱ	4 時間	32 回	初級前半レベルの学生を対象に、日本語語彙、文型の導入、口頭運用練習を中心に行った

初級Ⅲ	2 時間	16 回	初級前半レベルの学生を対象に日本語文型、表現の習得、口頭運用練習を中心に行った
初中級	2 時間	16 回	初級までの文型を活用し、場面に応じて適切に使用できるようになることを目指した
漢字	2 時間	16 回	漢字初学者を対象に N5 レベルの漢字を学習した

平成 27 年度後期開講授業：

科目名	授業時間	授業回数	授 業 概 要
初級 I	8 時間	64 回	(基礎医学日本語との同時開講) 日本語の文字・基礎文型の習得、口頭運用練習を行った
初級Ⅲ	4 時間	32 回	初級後半の文型を理解し、場面に応じて適切に使用できるようになることを目指した
会話 (初中級)	2 時間	16 回	初級修了レベルの学生を対象に文章を読むことを中心に語彙や文法項目の拡充を行った
漢字	2 時間	16 回	漢字初学者を対象に N5 レベルの漢字を学習した

【日本文化に関わる授業】

① 伝統文化実践プログラム

対象学生：交換留学生

プログラム目標：

武道や邦楽、日本美術の実践を通じて日本文化を学ぶことを目標とする。

実施期間：平成 26 年 4 月～平成 26 年 9 月 (授業回数 16 回)

プログラムの概要：

本プログラムは、武道コース、日本美術コース、邦楽コースから構成される。

武道コース：3 科目 (柔道 1、剣道 2)

日本美術コース 2 科目：(日本画 2)

邦楽コース 2 科目：(三絃 1、箏 1)

修了するためには、いずれかのコースを選択し、その授業を全て受講する。

本プログラムは、平成 25 年 10 月から 26 年 3 月まで「日本研究『武道・芸術』実践プログラム」、26 年 4 月から 26 年 9 月まで「伝統文化実践プログラム」というプログラム名で実施されてきた。平成 26 年 4 月に「日本美術演習」と「邦楽演習」が教養教育「日本語・日本事情科目」になり、柔道を含め、全ての科目が単位認定科目となったため、本プログラムは平成 26 年 9 月で終了した。

伝統文化実践科目

平成 26 年度後期開講授業：

科目名	授業時間	授業回数	授業概要
柔道	2 時間	16 回	「受身」を習得し、簡単な柔道試合を自ら体験できることを目標にする。
日本美術演習Ⅲ	2 時間	16 回	「日本画を描く」という活動を通して、その材料や道具について理解し、表現の方法を習得する。
日本美術演習Ⅳ	2 時間	16 回	
邦楽器演習Ⅰ	2 時間	16 回	日本の伝統楽器である三絃の音色に触れ、その美しさ、響きを生かしながら、演奏することを目標とする。
邦楽器演習Ⅲ	2 時間	16 回	日本の伝統楽器である箏の音色に触れ、その美しさ、響きを生かしながら、演奏することを目標とする。

平成 27 年度前期開講授業：

科目名	授業時間	授業回数	授業概要
柔道	2 時間	16 回	「受身」を習得し、簡単な柔道試合を自ら体験できることを目標にする。
日本美術演習Ⅰ	2 時間	16 回	「日本画を描く」という活動を通して、その材料や道具について理解し、表現の方法を習得する。
日本美術演習Ⅱ	2 時間	16 回	
邦楽器演習Ⅱ	2 時間	16 回	日本の伝統楽器である三絃の音色に触れ、その美しさ、響きを生かしながら、演奏することを目標とする。
邦楽器演習Ⅳ	2 時間	16 回	日本の伝統楽器である箏の音色に触れ、その美しさ、響きを生かしながら、演奏することを目標とする。

27 年度後期開講授業：

科目名	授業時間	授業回数	授業概要
柔道	2 時間	16 回	「受身」を習得し、簡単な柔道試合を自ら体験できることを目標にする。
日本美術演習Ⅲ	2 時間	16 回	「日本画を描く」という活動を通して、その材料や道具について理解し、表現の方法を習得する。
日本美術演習Ⅳ	2 時間	16 回	

邦楽器演習Ⅰ	2時間	16回	日本の伝統楽器である三絃の音色に触れ、その美しさ、響きを生かしながら、演奏することを目標とする。
邦楽器演習Ⅲ	2時間	16回	日本の伝統楽器である箏の音色に触れ、その美しさ、響きを生かしながら、演奏することを目標とする。

② Jプログラム（日本語・日本文化研修留学生プログラム）

対象学生：日本語・日本文化研修留学生、交換留学生

プログラム目標：

日本を研究対象とした諸研究を行うのに必要な知識や実社会でも役立つ日本語・日本文化に関するさまざまな知識を身につけることを目指す。修了時に、日本語で研究論文を作成し、自分の研究について口頭発表や質疑応答ができるようになることが目標となる。

実施期間：平成26年10月～平成27年9月

平成27年10月～平成28年9月までのそれぞれ1年間。

プログラムの概要：

授業科目		後期（10～3月）	前期（4～9月）
必須科目	日本語（教養教育）／ 日本語（予備教育日本語集中 コース）	4科目（120時間）* 8科目（240時間）**	
	日本語（教養教育）または 学部科目	6科目（180時間）*	2科目（60時間）**
	日本入門特別講義（大学）		1科目（30時間）
	課題研究（学部・センター）		論文・ プレゼンテーション
選択科目	学部・教養科目 日本研究実践（センター）	2科目（60時間以上）	

* 教養教育「日本語」受講者、** 「入門日本語コース」受講者

(2) 留学生相談・海外留学相談

自国を離れて生活・学習を行う留学生を対象とした相談（カウンセリング）、および日本人学生を対象とした海外留学についての相談を学生国際交流部門に所属する専任教員全員が担当している。

平成 26 年度、平成 27 年度の相談件数及び内容は以下のとおりである。

平成 26 年度

相談件数：延べ 118 件

相談時期：

時期	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
件数	11	13	7	9	4	1	27	12	9	7	7	2

※上記の他、時期不明が 9 件

来談者の属性：

国籍等	中国、インドネシア、タイ、アメリカ、ベトナム、モンゴル、台湾、マレーシア、ネパール、カンボジア等
性別	男性 54、女性 25、不明 38
所属	理工 66、社情 4、教育 3、医・保 3、不明 42
身分	学部学生 11、修士学生 29、博士学生 6、研究生 12、交換留学生 29、不明 8

相談内容：（複数回答による）

分類	相談例	件数
1 学習・研究	日本語学習・学位取得・研究の進め方・転学・休学	62
2 就職・進路	就職活動・進路の迷い・将来のこと	21
3 経済問題	奨学金・アルバイト・生活費・学費・医療費	8
4 人間関係	先生との関係・大学内人間関係・大学外人間関係・異性関係	9
5 心理的相談	不安・落込み・カルチャーショック・睡眠・生活リズム	7
6 危機管理	交通事故・物損・対人トラブル・セクシャルハラスメント・健康上の危機	1
7 日常生活	日本生活への適応・各種手続き・防災・生活用品・旅行	5
8 大学生活	キャンパス内情報・学内手続き	4
9 事務的事項	ビザ・査証・資格外活動・病院紹介・保険関係・住居関係・交流	3
10 家族	子弟の育児・保育園・学校・配偶者や家族との問題	0
11 海外留学研修	短期研修・交換留学・その他留学・海外派遣相談	0
12 その他	上記のいずれにもあてはまらないもの	0

対応：(複数回答による)

分 類	件 数
1. 事務を通じての事務的な対応	49
2. 必要な情報の提供	20
3. 他部局と連携しての対応	2
4. 学外機関と連携しての対応	0
5. 具体的援助	29
6. 助言・提案	64
7. カウンセリング的対応	7
8. その他	1

具体的相談内容の例 (主なもの)

- ・各種書類の書き方指導および日本語添削 (奨学金、履歴書、エントリーシート等)
- ・チューター活動
- ・日本語学習サポート
- ・研究室の人間関係
- ・就職活動の進め方、面接練習
- ・日本語クラスの選択
- ・日本人学生との交流機会の相談
- ・アパート退去時のトラブル相談
- ・学費の支払い

平成 27 年度

相談件数：延べ 165 件

相談時期：

時期	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
件数	16	17	21	14	4	5	30	11	10	11	14	12

来談者の属性：

国籍等	日本、中国、インドネシア、ベトナム、タイ、モンゴル、台湾、イタリア、ハンガリー、アメリカ等
性別	男性 94、女性 71
所属	理工 96、社情 29、教育 28、医・保 10、不明 2
身分	学部学生 30、修士学生 43、博士学生 20、研究生 3、交換留学生 67、不明 2

相談内容：(複数回答による)

分類		相談例	件数
1	学習・研究	日本語学習・学位取得・研究の進め方・転学・休学	84
2	就職・進路	就職活動・進路の迷い・将来のこと	42
3	経済問題	奨学金・アルバイト・生活費・学費・医療費	14
4	人間関係	先生との関係・大学内人間関係・大学外人間関係・異性関係	4
5	心理的相談	不安・落込み・カルチャーショック・睡眠・生活リズム	0
6	危機管理	交通事故・物損・対人トラブル・セクシャルハラスメント・健康上の危機	0
7	日常生活	日本生活への適応・各種手続き・防災・生活用品・旅行	3
8	大学生活	キャンパス内情報・学内手続き	1
9	事務的事項	ビザ・査証・資格外活動・病院紹介・保険関係・住居関係・交流	1
10	家族	子弟の育児・保育園・学校・配偶者や家族との問題	2
11	海外留学研修	短期研修・交換留学・その他留学・海外派遣相談	6
12	その他	上記のいずれにもあてはまらないもの	8

対応：(複数回答による)

分類	件数
1. 事務を通じての事務的な対応	12
2. 必要な情報の提供	37
3. 他部局と連携しての対応	0
4. 学外機関と連携しての対応	1
5. 具体的援助	35
6. 助言・提案	30
7. カウンセリング的対応	20
8. その他	0

具体的相談内容の例（主なもの）

- ・履修相談
- ・日本語学習サポート
- ・各種書類の書き方指導および日本語添削（奨学金、履歴書、エントリーシート等）
- ・就職活動の進め方、面接練習
- ・Jプログラム研究相談
- ・進学相談
- ・英語学習方法
- ・GFLプログラム
- ・留学前の英語独習方法
- ・留学相談

(3) 短期研修

【短期研修（派遣）】

夏休みや春休みを利用した 4 週間程度の語学学習を中心としたプログラム「短期英語研修プログラム」および、講義や異文化体験を中心とした 1～2 週間程度の「異文化理解プログラム」を実施した。

① 短期英語研修プログラム

本学の協定校にある語学学校と、本学の学生のために編成されたコースや他国他大学学生と共に学ぶ能力別コースを企画し、夏休みや春休みを利用して約 4 週間の英語研修を行った。

平成 26 年度

- ・オーストラリア ウーロンゴン大学
- ・アメリカ サンディエゴ州立大学

平成 27 年度

- ・オーストラリア ウーロンゴン大学
- ・アメリカ サンディエゴ州立大学
- ・イギリス キール大学

なお、これらのプログラムへの参加者には教養教育科目外国語の単位が認定されている。

学生の参加状況は 44 ページの表を参照のこと。

② 異文化理解プログラム

本学の協定校が毎年企画・募集する、大学における講義や伝統文化体験、史跡めぐりなどを複合的に組み合わせた 1～2 週間程度のプログラムに学生が参加した。

本学からの参加者以外に国内の他大学（協定校）からも学生が参加しているが、本学の必要要件を満たしたものについては教養教育科目の単位を認定している。

平成 26 年度

- ・スロベニア リュブリアナ大学
- ・タイ 泰日工業大学
- ・韓国 建国大学

平成 27 年度

- ・スロベニア リュブリアナ大学
- ・タイ 泰日工業大学
- ・台湾 台北教育大学

学生の参加状況は 44 ページの表を参照のこと。

【短期研修（受入）】

① 国際教育・研究センター主催のプログラム

協働型プロジェクトワークによる日本研究プログラム

対象学生：交流協定校に在籍し参加を希望する学生

受け入れ学生数：10名

（国籍：アゼルバイジャン3名、中国4名、台湾1名、ハンガリー1名、タイ1名）

プログラム目標：課題を設定して調査・報告を行うプロジェクトワークと日本文化の体験プログラムをその主たる内容とし、留学生が現代日本社会や日本文化への理解を深めることを目的とする。

実施期間：平成26年8月17日～9月1日

プログラムの概要：

- ・プロジェクトワークに関わる授業 33時間
- ・日本文化に関わる体験型授業 15時間
- ・学外における弓道体験 7時間
- ・ホームステイ 1泊2日
- ・研修旅行 日光東照宮およびその周辺 平成26年8月29日～30日

② 他学部主催のプログラムにおける日本語教育等

平成26年度

「理工学部サマープログラム」における日本語事業、日本文化体験授業

対象学生：ニューヨーク州立大学ストーニーブルック校（米国）留学生

受け入れ学生数：5名

実施期間：平成26年6月4日、18日、7月2日

実施内容：日本文化体験（藍染、茶道、水墨画）

対象学生：キングモンクット工科大学トンブリ校（KMUTT）（タイ）留学生

受け入れ学生数：5名

実施期間：平成26年6月11日、18日、25日、7月2日

実施内容：日本語授業、日本文化体験（藍染、茶道、水墨画、着物体験）

理工学部機械知能システム理工学科主催「タイ・キングモンクット工科大学トンブリ校（KMUTT）学生受入プログラム」における日本語授業・日本文化体験授業

対象学生：KMUTTに在籍し参加を希望する学生

受け入れ学生数：10名（学部生8名、院生2名）

実施期間：平成27年3月18日、25日

実施内容：

- ・日本語授業：買い物や飲食店の注文場面等におけるサバイバル日本語の授業（3月18、25日・各2時間）
- ・日本文化体験授業：茶道体験および日本家屋見学（3月18日・3時間）、織物資料館見学および藍染体験（3月25日・3時間）の企画

(4) 群馬大学海外留学フェア

群馬大学学生の海外留学への意欲を促進し、群馬大学海外研修・海外留学プログラムへの参加者を増加させること及び、長期交換留学プログラム・短期海外研修プログラムの概要を広く様々な学部・学年の学生に周知して長期的な学習プラン・キャリアプランの参考にしてもらうことを目的に、荒牧キャンパスと桐生キャンパスで留学フェアを実施した。また、桐生キャンパスでは、理工学府教育プログラムの提供する国際インターンシップ等の情報提供も行った。

平成 26 年度

① 群馬大学海外留学フェア（荒牧地区）

実施日時：平成 26 年 4 月 23 日（木）12:00～17:00

実施場所：群馬大学ミューズホール

参加者数：287 人

内 容：

1. 講演 14:30～16:00

- ・開催挨拶（教育・国際担当理事 石川治教授、国際教育・研究センター長 土橋敏明教授）
- ・プログラム・単位認定説明（国際教育・研究センター 野田岳人准教授）
- ・「オーストラリアでグローバル人材になろう」
（オーストラリア大使館商務官 市川智子氏）
- ・平成 25 年度短期英語研修参加者報告
サンディエゴ州立大学（SDSU）プログラム参加
青木瞬佑（教育学部 3 年）
ウーロンゴン大学（UOW）プログラム参加
大矢啓介、斉藤瑞、吉井沙織（社会情報学部 3 年）

2. ブースにおける個別相談・案内 12:00～17:00

- ・総合案内
- ・海外短期研修
- ・英語研修（SDSU）紹介
- ・英語研修（UOW）紹介
- ・各学部の留学に関する情報提供（理工学部・医学部保健学科・医学部医学科・社会情報学部・教育学部）
- ・交換留学資料提供
- ・全学プログラム（英語研修、異文化理解研修、交換留学）紹介
- ・日本台湾教育センター
- ・株式会社ワールドアベニュー
- ・株式会社 ISA
- ・大学生協（資料提供）

② 群馬大学海外留学フェア（桐生地区）

実施日時：平成 26 年 10 月 22 日（水）14:30～17:00

実施場所：大講義室（講演）、生協食堂（ブース）

参加者数：106 人

内 容：

1. 講演 14:30～16:00

- ・国際教育・研究センター長 挨拶（国際教育・研究センター長 土橋敏明教授）
- ・理工学部長 挨拶・留学体験談（理工学部長 篠塚和夫教授）
- ・全学プログラムの紹介（国際教育・研究センター 野田岳人准教授）
- ・理工学部学生海外留学・研修体験談
（機械システム工学科 古舘竣哉／大学院理工学府環境創生理工学教育プログラム 青山知弘）
- ・理工学部・海外留学の勧め（大学院理工学府及び理工学部 国際交流・学生支援委員長 山田功教授）

2. ブースにおける個別相談・案内 16:00～17:00

- ・総合案内
- ・理工学部各学科海外研修プログラム・国際会議体験談等紹介
- ・英語教員による学習相談
- ・英語研修（SDSU）紹介・受付
- ・英語研修（UOW）紹介
- ・全学プログラム（短期語学研修、異文化理解研修、交換留学）紹介
- ・株式会社 ISA 留学プログラム紹介
- ・財団法人英語検定協会 英語テスト（IELTS, 英検）の紹介
- ・大学生協（資料提供）

平成 27 年度

① 群馬大学海外留学フェア（荒牧地区）

実施日時：平成 27 年 5 月 13 日（水）12:10～16:30

実施場所：ミュージックホール

参加者数：278 人

内 容：

1. ショート講演

- ・開会挨拶（教育・研究担当理事 窪田健二教授、
国際教育・研究センター長 末松美知子教授）
- ・プログラム紹介、単位認定（国際教育・研究センター 野田岳人准教授）
- ・企業が求めるグローバル人材とは
（株式会社 ISA 高崎支店長 登坂貴氏）
- ・海外短期ボランティアの魅力
（国際教育交換協議会（CIEE）日本代表部国際交流促進部長 掘越敏明）

氏)

2. ブースにおける個別相談・案内

- ・ 交換留学／異文化理解研修（台北教育大学、東海大学、嶺南大学、建国大学、泰日工業大学）紹介
- ・ 英語研修（SDSU）紹介
- ・ 英語研修（UOW）紹介・受付
- ・ 英語研修（キール大学）紹介・受付
- ・ 英語学習相談
- ・ 学部／学科別留学相談（教育学部、社会情報学部、医学部医学科、医学部保健学科、理工学部、GFL コース）
- ・ 株式会社 ISA 留学プログラム紹介
- ・ 国際教育交換協議会（CIEE） 海外ボランティアプログラム紹介
- ・ 株式会社アルク 語学教材見本展示
- ・ 大学生協（資料提供）

② 群馬大学海外留学フェア（桐生地区）

実施日時：平成 27 年 10 月 28 日（水）14:20～17:30

実施場所：総合研究棟 3 階 301, 304（ブース）、大講義室（講演）

参加者数：108 人

内 容：

1. ブースにおける個別相談・案内 14:20～16:00

- ・ 総合案内
- ・ 理工学部各学科海外研修プログラム・国際会議体験談等紹介
- ・ 英語教員による学習相談
- ・ 英語研修（SDSU）紹介・受付
- ・ 全学プログラム（短期語学研修、異文化理解研修、交換留学）紹介
- ・ GFL 留学体験紹介
- ・ 国際教育交換協議会（CIEE）による海外ボランティア活動の紹介

2. 講演 16:00～17:30

- ・ 国際教育・研究センター長 挨拶（国際教育・研究センター長 末松美知子教授）
- ・ 理工学部長 挨拶・留学体験談（理工学部長 篠塚和夫教授）
- ・ 海外ボランティアについて（国際教育交換協議会（CIEE）日本代表部国際交流促進部長 堀越敏明氏）
- ・ 理工学部学生海外留学・研修体験談
（環境創生理工学教育プログラム 國友ひかり／物質・生命理工学教育プログラム 小栗直己）
- ・ 全学プログラム紹介（国際教育・研究センター 野田岳人准教授）
- ・ 理工学部・海外留学の勧め（大学院理工学府及び理工学部 国際交流・学生支援委員長 山田功教授）

(5) 日本留学フェア・進学説明会

日本の大学に進学を希望する国内外の外国人学生や、日本の大学との学生国際交流を促進するため、国内外で開催される、日本留学フェアや進学説明会等に参加し、群馬大学の学部及び大学院の研究教育内容や入試等について説明及び情報提供を行った。

※ JASSO（独立行政法人日本学生支援機構）

【日本留学フェア】

平成 26 年度

① JASSO 日本留学フェア（大学間交流促進プログラム）NAFSA 年次総会

出張者：土橋敏明（国際教育・研究センター長）

山田 功（国際教育・研究センター国際企画部門長）

開催日：平成 26 年 5 月 27 日（火）～5 月 30 日（金）

開催場所：アメリカ（サンディエゴ）

② JASSO 日本留学フェア（大学間交流促進プログラム）EAIE 年次大会

出張者：山田 功（国際教育・研究センター国際企画部門長）

Bergeron, Sylvain（国際教育・研究センター 講師）

開催日：平成 26 年 9 月 17 日（水）～9 月 19 日（金）

開催場所：チェコ（プラハ）

③ JASSO 日本留学フェア（インドネシア）

出張者：伊藤 隆（国際教育・研究センター研究国際交流部門員）

野田岳人（国際教育・研究センター准教授）

場所・日時：スラバヤ 平成 26 年 10 月 18 日（土）

ジャカルタ 平成 26 年 10 月 19 日（日）

平成 27 年度

① JASSO 日本留学フェア（大学間交流促進プログラム）NAFSA 年次総会

出張者：末松美知子（国際教育・研究センター長）

Bergeron, Sylvain（国際教育・研究センター 講師）

開催日：平成 27 年 5 月 26 日（火）～5 月 29 日（金）

開催場所：アメリカ（ボストン）

② JASSO 日本留学フェア（大学間交流促進プログラム）EAIE 年次大会

出張者：末松美知子（国際教育・研究センター長）

Bergeron, Sylvain（国際教育・研究センター 講師）

開催日：平成 27 年 9 月 16 日（水）～9 月 18 日（金）

開催場所：イギリス（グラスゴー）

③ 国際教育交流フェア APAIE 年次大会

出張者：山田 功（国際教育・研究センター研究国際交流部門長）

開催日：平成 28 年 2 月 29 日(月)～3 月 3 日(木)

開催場所：オーストラリア（メルボルン）

【進学説明会】

平成 26 年度

① 外国人留学生のための進学説明会（株式会社ライセンスアカデミー）

出張者：横山裕子（学務部国際交流課留学交流係員）

開催日：平成 26 年 7 月 4 日（金）

開催場所：群馬ロイヤルホテル

②外国人留学生のための進学説明会（JASSO）

出張者：大和啓子（国際教育・研究センター 講師）

高平和生（学務部国際交流課国際企画係長）

開催日：平成 26 年 7 月 12 日（土）

開催場所：東京会場（サンシャインシティ ワールドインポートマート展示ホール A）

平成 27 年度

① 外国人学生のための進学説明会（株式会社アクセスリード）

出張者：牧原 功（国際教育・研究センター 准教授）

高平和生（学務部国際交流課留学交流係長）

開催日：平成 27 年 6 月 9 日（金）

開催場所：渋谷ヒカリエ

② 外国人留学生のための進学説明会（株式会社ライセンスアカデミー）

出張者：福島健太（学務部国際交流課留学交流係員）

開催日：平成 27 年 7 月 4 日（金）

開催場所：群馬ロイヤルホテル

③外国人留学生のための進学説明会（JASSO）

出張者：牧原 功（国際教育・研究センター 准教授）

高平和生（学務部国際交流課国際企画係長）

開催日：平成 27 年 7 月 12 日（日）

開催場所：東京会場（サンシャインシティ文化会館展示ホール D）

(6) 群馬大学国際合同研修（インターナショナルキャンプ）

グローバル人材育成につながる教育活動の取り組みとして、インターナショナルキャンプを実施している。これは、日本人学生と外国人留学生在が日英両言語を用いて協働することにより、様々な文化背景をもつ学生同士の交流や相互理解を深め、グローバルな視点を育てることを目的とする国際合同合宿である。平成26年度は文化財見学と文化体験を行い、平成27年度は日本の伝統的な習慣に触れる機会として、県内の農村にて民泊体験を行った。

平成26年度

実施期間：平成26年8月29日（金）～30日（土）（1泊2日）

場 所：世界遺産・日光東照宮及びその周辺

宿 泊：「花と華」 栃木県日光市湯西川温泉 601

参加者：日本人学生16人 留学生24人 全40名

引 率：センター教員2名 国際交流課職員2名

行 程：

8月29日 ・日光東照宮散策・見学

- ・研修1（日光東照宮に関する問題の答え合わせ及びディスカッション）
- ・研修2（発表及びディスカッション）

8月30日 ・華厳の滝（下車見学）、中禅寺湖（車窓見学）

- ・ぶどう狩り
- ・解散会（総括発表、討議）

平成27年度

実施期間：平成27年8月31日（月）～9月1日（火）（1泊2日）

協 力：株式会社キャニオンズ・一般財団法人みなかみ町体験旅行

場 所：みなかみ町（群馬県）

宿 泊：各農家

参加者：日本人学生16人 留学生21人 全38名

引 率：センター教員2名 国際交流課職員2名

行 程：

8月31日 ・キャニオンズ 課外活動（ウォーターアクティビティ）

- ・キャニオンズ 代表取締役 マイク・ハリス氏によるレクチャー
- ・入村式
- ・民泊（各農家における生活体験、夕食の準備等手伝い）

9月1日 ・農作業等体験

- ・離村式
- ・グループ別の総括発表、討議、民泊先への色紙の作成

(7) 群馬大学外国人留学生等実地研修旅行

外国人留学生が、団体行動において、日本を取り巻く社会的背景や政治・経済・文化・歴史等を視察または体験し、日本に対する理解と市民との交流の機会の拡大を図るとともに留学生同士の親交を深めることを目的とし、実施した。

平成 26 年度

実施期間：平成 26 年 6 月 21 日（土）

場 所：浅草・江戸東京博物館

参 加 者：留学生 48 名

引 率：センター教員 2 名、国際交流課職員 2 名

行 程：

- ・浅草自由散策
- ・江戸東京博物館見学

(8) インターナショナルラウンジ活動 (桐生)

平成 26 年 4 月より、桐生キャンパス 7 号館 508 室にインターナショナルラウンジを開室した。平成 26 年度前期は留学生サポートデスクを設置したが、相談者が少なく十分に機能しなかったため、平成 26 年度後期はサポートデスクから交流サポートの形態に変更して、留学生と日本人学生の交流促進を図った。くわえて、2016 年度後期には語学学習イベント「コトノハ」を 2 回実施した。

また、学内の国際交流活動促進を図ること、理工学部図書館 1 階のラーニングコモンスペースを有効活用することを目的に「留学生と日本人学生のための国際交流会」を企画、実施している。平成 26 年度は 7 回、平成 27 年度は 2 回実施し、各回、日本人学生・留学生を合わせ 15～20 名程度の参加があった。交流会の前半は、ゲストスピーカーによる発表および質疑応答、後半は参加者間のフリートークを行った。

① 留学生サポートデスク

開設期間：平成 26 年度前期 週 3 日 (月、水、金、12:00～13:30)

開設場所：理工学部 7 号館 5 階 国際教育・研究センター インターナショナルラウンジ

② 日常交流サポート

実施期間：平成 26 年度後期 週 3 日程度 (12:00～13:30)

実施場所：理工学部 7 号館 5 階 国際教育・研究センター インターナショナルラウンジ

実施内容：日本人学生と留学生をスタッフとして配置し、交流活動のリーダーとした。英語版上毛かるた、ことわざカルタ、漢字カード等を使ったゲームを通し、語学交流及び異文化交流を行った。

③ 留学生と日本人学生のための語学学習イベント「コトノハ」

実施日時：平成 26 年度後期

第 1 回 10 月 27 日 (月) 16:00～18:00

第 2 回 11 月 17 日 (月) 16:00～18:00

実施場所：理工学部 7 号館 5 階 国際教育・研究センター インターナショナルラウンジ

実施内容：第 1 回 語学を独学する方法のミニ講義

(担当：俵山雄司講師)

第 2 回 私の日本語学習体験

(担当：理工学府院生 レイサ・レラトー)

④ 留学生と日本人学生のための国際交流会

平成 26 年度

実施日時：4月30日・5月14日・5月28日・6月25日・7月9日、11月26日、
12月10日（水、16:00～17:00）

実施場所：理工学部図書館1階 ラーニングコモンズ

実施内容：第1回 桐生の生活～留学生の視点から～

（担当：電子情報・数理教育プログラム 1年 王俊善）

第2回 海外で働くということ

（担当：留学生アドバイザー 小松翠）

第3回 Malaysia : Truly Asia

（担当：機械 4年 シティ・ラッジア）

第4回 Japan Through Foreign Eyes : Indonesian Version

（担当：応化生化 4年 アイシャ・ザキーヤ）

第5回 オーストラリア英語研修体験談

（担当：電情 2年 粕谷建太、化学 2年 安カ川真美、化学 2年
柳瑤美、化学 2年 原彩美）

第6回 モンゴルってどんな国？

（担当：化学・生物化学 2年 プレブスレン・ホラン）

第7回 ラオスを知っていますか？

（担当：環境プロセス 4年 ナンタナー・プーイ）

平成 27 年度

実施日時：第1回 7月16日（木）16:15～17:15

第2回 12月17日（木）14:30～15:30

実施場所：第1回 理工学部図書館1階 ラーニングコモンズ

第2回 理工学部7号館5階 国際教育・研究センター インターナシ
ョナルラウンジ

実施内容：第1回 Nepal : Paradise on Earth ～地上の楽園、ネパールの紹介～

（担当：電子情報・数理教育プログラム 博士後期課程3年 パラジ
ュリ・ラジュ・クマル）

第2回 カンボジアの紹介と語学学習経験

（担当：社会環境デザイン工学科 4年 テプ・メター、情報工学科 4
年 ティー・ラタナー）

(9) 留学生サポートデスク（荒牧）

荒牧地区の交換留学生を主な対象とし、1年間の短期在籍中に生じる様々なニーズに応じたサポートを行うことを目的として、平成23年度後期から留学生サポートデスクを設置してきた。コーディネーター教員の指導及び助言のもと、学習支援に特化したチューター制度ではカバーできない留学生の大学生活への適応のサポートを中心に活動している。

平成26年度の活動実績の概要は次のとおりである。

期 間： 平成26年11月26日～平成27年1月28日（全8回）

日 時： 毎週水曜日 16:00～18:00

担当学生： 2名

周知方法： チラシを作成し、国際交流室に掲示した。交換留学生対象の授業にて教員から周知した。

活動場所： 国際交流室（大学会館2F）

活動報告： 毎回報告書を提出（One Drive 活用）し、担当教員と情報を共有した。

活動内容：

活動日	対応留学生	対応内容
11月26日	0	
12月3日	0	交流室内の学生と会話等
12月10日	—	留学生交流会に参加
12月17日	3	留学生の国紹介のスライド等
1月7日	1	授業で使うパワーポイント作成補助、年末年始についての会話等
1月14日	0	留学生、日本人学生と会話等
1月21日	2	不在届け、その他はがきの取り扱い方
1月28日	0	

平成27年度以降は、チューター活動による専門分野の教育・研究へのサポートを優先することとし、サポートデスクを設置しないこととした。

(10) 外部会議出席

平成 26 年度

① 全国国立大学法人留学生センター長及び留学生課長等合同会議

参加者：土橋敏明（国際教育・研究センター長）

関 充（学務部国際交流課長）

開催日：平成 26 年 11 月 7 日（金）

開催場所：チサンホテル&コンファレンスセンター新潟

② 国立大学法人等国際企画担当責任者連絡協議会

参加者：土橋敏明（国際教育・研究センター長）

道見明彦（学務部長）

開催日：平成 26 年 12 月 11 日（木）～12 月 12 日（金）

開催場所：ホテルニュー長崎、長崎大学文教スカイホール

平成 27 年度

① 全国国立大学法人留学生センター長及び留学生課長等合同会議

参加者：末松美知子（国際教育・研究センター長）

中田多美（学務部国際交流課長）

開催日：平成 27 年 11 月 6 日（金）

開催場所：マリエールオークパイン那覇

② 国立大学法人等国際企画担当責任者連絡協議会

参加者：末松美知子（国際教育・研究センター長）

道見明彦（学務部長）

中田多美（学務部国際交流課長）

開催日：平成 27 年 12 月 17 日（木）～12 月 18 日（金）

開催場所：かがわ国際会議場、香川大学講堂

③ 国立大学法人留学生センター留学生指導担当研究協議会

参加者：船橋瑞貴（国際教育・研究センター 講師）

開催日：平成 27 年 7 月 1 日（水）

開催場所：東京大学本郷キャンパス 山上会館 2F 大会議室

3-2-4 地域貢献・社会貢献

(1) 留学生派遣事業（地域貢献事業）

国際教育・研究センターでは、地域との国際交流を図ることを目的とした「国際理解講座への留学生派遣申合せ」を制定し、近隣の教育機関（小中学校等）からの依頼に基づき、本学の留学生を派遣する事業を行っている。

平成26年度派遣内容

No.	派遣日	派遣先 (依頼先)	派遣(依頼) の内容	派遣 留学生数	留学生の所属	留学生の 国籍
1	2月2日	小学校	国際理解集会	2	社会情報学部	ハンガリー
					教育学部	タイ
2	2月15日	小学校	国際理解集会	4	教育学部	インドネシア
					教育学部	タイ
					教育学部	モンゴル
					教育学部	スリランカ
3	1月28日	小学校	国際理解集会	1	医学系研究科	モンゴル
4	2月13日	小学校	国際理解集会	1	社会情報学研 究科	スロベニア

平成27年度派遣内容

No.	派遣日	派遣先 (依頼先)	派遣(依頼) の内容	派遣 留学生数	留学生の所属	留学生の 国籍
1	2月15日	小学校	総合的な学習 の時間（世界 の国々を知ろ う）	4	社会情報学部	ポーランド
					教育学部	インドネシア
					理工学部	ベトナム
					医学系研究科	ベトナム
2	7月14日	小学校	国際理解集会	1	社会情報学部	ブラジル
3	2月18日	小学校	国際理解集会	5	理工学部	モンゴル
					教育学部	タイ
					教育学部	スリランカ
					理工学部	マレーシア
					理工学部	マレーシア
4	11月13日	小学校	国際理解集会	2	社会情報学部	台湾
					教育学研究科	インドネシア
5	12月18日	高等学校	サイエンスカ フェ	11	理工学府	ネパール
					理工学府	イラン
					理工学府	タイ
					理工学府	中国
					理工学府	インドネシア
					理工学府	ベトナム
					理工学府	中国
					理工学府	フィリピン
					理工学部	ラオス
					理工学府	モンゴル
理工学部	カンボジア					

(2) 教員による地域貢献事業

国際教育・研究センターでは、教員もその専門性を生かした様々な活動により地域貢献を行っている。継続的な活動により地域との連携を積み重ね、群馬県における留学生受入れの活性化に貢献してきた。

平成26年度活動内容

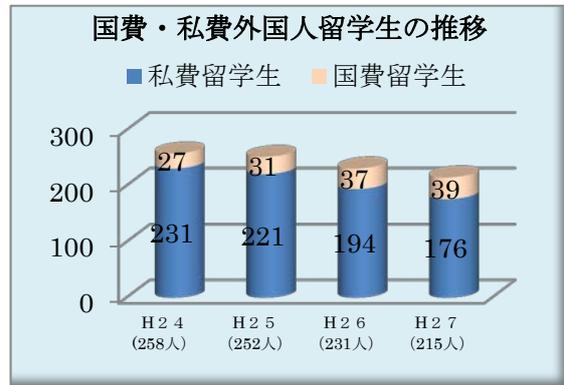
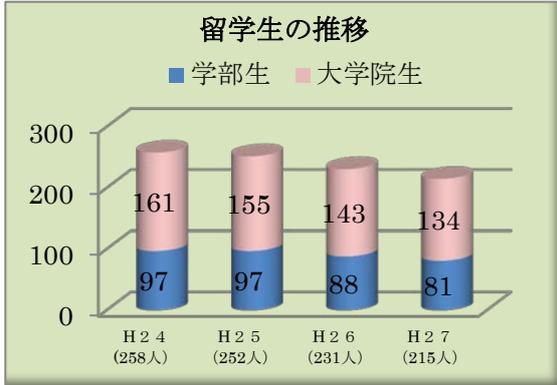
No.	教員名	活動の内容	実施日
1	野田岳人	前橋市国際交流協会友好親善部会員	
2	牧原 功	群馬県NPO・多文化共生推進課の地域雇用創造事業委託事業「外国にルーツを持つ子どもたちの教育支援体制充実事業」「外国人への日本語学習支援者養成講座(基本編)」	5月16日-8月1日 (9回)
3	牧原 功	財団法人自治体国際化協会主催平成26年度第1回PA研修会	5月28日
4	大和啓子	群馬県委託事業NPO法人Jコミュニケーション 外国人への日本語学習支援者養成講座	7月18日
5	牧原 功	多文化共生センター群馬主催外国人住民等に対する情報提供のあり方に関する研修会「やさしい日本語を活用した広報の可能性について」	8月8日/ 9月8日
6	牧原 功	財団法人自治体国際化協会主催平成26年度都道府県別サポート研修会	10月7日
7	牧原 功	群馬県留学生推進協議会主催「留学生によるスピーチコンテスト」審査委員	10月13日
8	牧原 功	財団法人自治体国際化協会主催平成26年度JETプログラム国際交流員(CIR)中間研修	11月27日
9	野田岳人	前橋市国際交流協会国際理解講座	11月29日
10	大和啓子	文化庁委託事業平成26年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業【地域日本語教育実践プログラム(B)】日本に定住を希望する外国人住民が高齢期に向けて備えるための日本語教育支援事業-外国人住民の文化的・社会的多様性に配慮した日本語教育プログラムの構築-指導者養成講座	1月25日/ 2月8日
11	大和啓子	群馬県観光物産国際協会主催日本語ボランティア養成講座	2月21日
12	牧原 功	群馬県観光物産国際協会主催日本語ボランティア養成講座	2月28日

平成27年度活動内容

No.	教員名	活動の内容	実施日
1	野田岳人	前橋市国際交流協会友好親善部会員	
2	牧原 功	文部科学省委託事業「留学生交流拠点整備事業」コンソーシアム協議会委員	
3	シルバン・ベルジュロン	前橋市国際交流協会外国語講座	4月11日-3月31日
4	大和啓子	群馬県留学生推進協議会「留学生日本語スピーチコンテスト」審査委員	10月18日
5	牧原 功	群馬県立中央中等教育学校スーパーグローバルハイスクール指導助言	2月9日-10日
6	牧原 功	群馬県観光物産国際協会主催日本語ボランティア養成講座	2月14日
7	大和啓子	群馬県観光物産国際協会主催日本語ボランティア養成講座	2月21日
8	船橋瑞貴	群馬県観光国際物産協会主催日本語ボランティア養成講座	2月28日

4. 学生、教員の国際交流に関するデータ

4-1 外国人留学生の推移（過去4年）



内訳（各年5月1日現在）

平成	学部学生		大学院学生				研究生				聴講生	特別聴講学生				特別研究学生		計		合計
			修士		博士		学部		大学院			学部	大学院		大学院					
	国費	私費	国費	私費	国費	私費	国費	私費	国費	私費	国費		私費	国費	私費	国費	私費	国費	私費	
24	10	69	2	66	14	49	1	17	0	1	0	0	23	0	1	0	5	27	231	258
25	13	61	1	79	13	39	1	18	0	0	1	3	17	0	2	0	4	31	221	252
26	12	54	5	67	11	35	2	14	1	0	0	6	20	0	4	0	0	37	194	231
27	6	57	19	48	13	40	3	9	1	2	0	6	14	0	2	0	4	39	176	215

留学生 学部・研究科別内訳（過去4年間）集計（各年5月1日現在）

平成	学部・研究科	学部学生		大学院学生				研究生				聴講生	特別聴講学生				特別研究学生		計		合計
				修士		博士		学部		大学院			学部	大学院		大学院					
		国費	私費	国費	私費	国費	私費	国費	私費	国費	私費	国費		私費	国費	私費	国費	私費	国費	私費	
24	教育学部 教育研究科	0	0	0	2	0	0	1	1	0	0	0	0	6	0	0	0	0	1	9	10
	社会情報学部 社会情報学研究科	0	3	0	13	0	0	0	4	0	1	0	0	7	0	1	0	0	0	29	29
	医学部医学科 医学系研究科	1	0	0	2	9	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	19	29
	医学部保健学科 保健学研究科	0	1	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	6	6
	工学部 工学研究科	9	65	2	49	5	29	0	12	0	0	0	0	8	0	0	0	5	16	168	184
	計	79		131				19				0	24				5		258		
25	教育学部 教育研究科	0	0	0	2	0	0	1	1	0	0	0	0	4	0	1	0	0	1	8	9
	社会情報学部 社会情報学研究科	0	3	0	10	0	0	0	9	0	0	0	3	9	0	0	0	0	3	31	34
	医学部医学科 医学系研究科	0	0	0	7	9	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	18	27
	医学部保健学科 保健学研究科	0	0	1	2	0	3	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	7	8
	理工学部 理工学府	13	58	0	58	4	25	0	8	0	0	0	0	4	0	0	0	4	17	157	174
	計	74		132				19				1	22				4		252		

2 6	教育学部 教育研究科	0	0	0	1	0	0	2	1	0	0	0	2	9	0	1	0	0	4	12	16
	社会情報学部 社会情報学研究科	0	2	1	11	0	0	0	4	0	0	0	4	6	0	0	0	0	5	23	28
	医学部医学科 医学系研究科	0	0	1	5	9	12	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	11	17	28
	医学部保健学科 保健学研究科	0	0	1	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	4	5
	理工学部 理工学府	12	52	2	48	2	21	0	9	0	0	0	0	5	0	3	0	0	16	138	154
	計	66		118				17				0	30				0		231		
2 7	教育学部 教育研究科	0	0	1	2	0	0	0	1	0	0	0	3	6	0	1	0	0	4	10	14
	社会情報学部 社会情報学研究科	0	1	2	10	0	0	0	3	0	1	0	3	2	0	1	0	0	5	18	23
	医学部医学科 医学系研究科	1	0	3	2	13	17	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	18	20	38
	医学部保健学科 保健学研究科	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	理工学部 理工学府	5	5	4	34	0	23	1	5	1	0	0	0	6	0	0	0	4	11	128	131
	計	63		111				15				0	22				4		215		

4-2 学生の国際交流

4-2-1 派遣

平成27年度現在で、20カ国1地域40の大学・機関と大学間協定を締結（学部間協定は19カ国1地域79の大学・機関）し、派遣及び受入れを行っている。

過去2年間の大学間協定に基づく協定校への派遣状況は以下のとおりである。

(1) 交換留学

【平成26年度】

大学間協定校名	国・地域	派遣人数及び期間			派遣学部・院				
		3ヶ月未満	6ヶ月未満	1年未満	教育	社情	医	保	理工
サンディエゴ州立大学	アメリカ			1	1				
小計				1	1				
合計		1			1				

【平成27年度】

大学間協定校名	国・地域	派遣人数及び期間			派遣学部・院 ()内は大学院で内数				
		3ヶ月未満	6ヶ月未満	1年未満	教育	社情	医	保	理工
国立台北教育大学	台湾			2	1	1			
サンディエゴ州立大学	アメリカ			4	3	1			
リュブリャナ大学	スロベニア			1	1(1)				
ウーロンゴン大学	オーストラリア			1	1				
小計				8	5	2			
合計		8			7				

(2) 短期英語研修

【平成26年度】

プログラムの名称 派遣協定校名	国・地域	派遣期間	参加学生数		
			学部	大学院	計
ウーロンゴン大学英語研修プログラム	オーストラリア	8月15日-9月14日	15	2	17
サンディエゴ州立大学英語研修プログラム	アメリカ	8月31日-9月28日	20	0	20

【平成27年度】

プログラムの名称 派遣協定校名	国・地域	派遣期間	参加学生数		
			学部	大学院	計
ウーロンゴン大学英語研修プログラム	オーストラリア	8月14日-9月14日	4	0	4
キール大学英語研修プログラム	イギリス	8月22日-9月21日	14	0	14
サンディエゴ州立大学英語研修プログラム	アメリカ	3月5日-3月28日	17	0	17

(3) 異文化理解プログラム

【平成26年度】

協定校名	国・地域	派遣期間	参加学生数		
			学部	大学院	計
建国大学	韓国	8月17日-8月30日 2月22日-3月7日	3	0	3
リュブリャナ大学	スロベニア	3月3日-3月27日	2	0	2
秦日工業大学	タイ	3月8日-3月20日	0	1	1

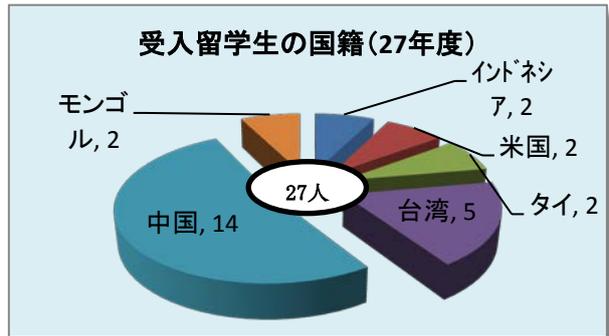
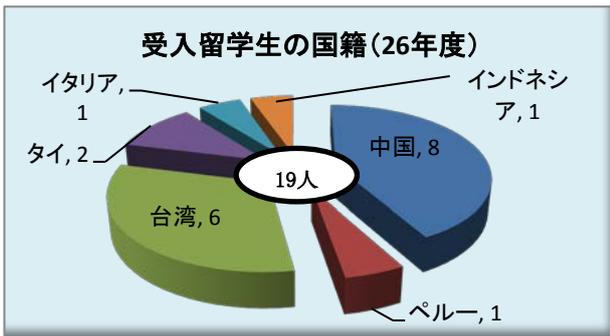
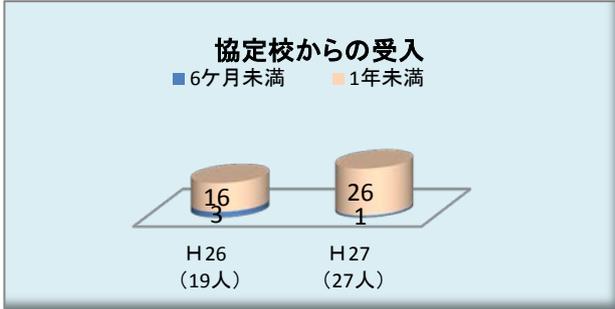
【平成27年度】

協定校名	国・地域	参加学生数	参加学生数		
			学部	大学院	計
リュブリャナ大学	スロベニア	2月28日-3月13日	1	0	1
台北教育大学	台湾	3月8日-3月17日	3	0	3
秦日工業大学	タイ	3月13日-3月24日	1	0	1

4-2-2 受入

平成27年度現在で、20カ国1地域40の大学・機関と大学間協定を締結（学部間協定は19カ国1地域79の大学・機関）し、派遣及び受入れを行っている。

過去2年間の大学間協定に基づく協定校への派遣状況は以下のとおりである。



【平成26年度】

大学間協定校名	国・地域	受入人数及び期間			受入学部・院 ()内は大学院で内数				
		3ヶ月未満	6ヶ月未満	1年未満	教育	社情	医	保	理工
重慶交通大学	中国			2					2(2)
大連理工大学	中国			3					3
ペルーポンテフィシアカトリック大学	ペルー		1						1
国立台北教育大学	台湾		1	2	2(1)				1
東海大学	台湾		1	2	3				
チェンマイ大学	タイ			2	2				
フィレンツェ大学	イタリア			1	1				
インドネシア教育大学	インドネシア			1	1				
海南大学	中国			3		3			
小計		0	3	16	9(1)	3	0	0	7(2)
合計			19			19(3)			

【平成27年度】

大学間協定校名	国・地域	受入人数及び期間			受入学部・院 ()内は大学院で内数				
		3ヶ月未満	6ヶ月未満	1年未満	教育	社情	医	保	理工
モンゴル国立医科学大学	モンゴル			2				2	
大連理工大学	中国			3					3
重慶交通大学	中国		1	2					3(3)
チェンマイ大学	タイ			2	2				
海南大学	中国			3		3			
サンディエゴ州立大学	アメリカ			2	2				
国立台北教育大学	台湾			5	3	2			
大連工業大学	中国			2					2(2)
インドネシア教育大学	インドネシア			2	2				
瀋陽化工大学	中国			3					3(1)
小計		0	1	26	9	5	0	2	11(6)
合計			27			27(6)			

4-3 教職員の国際交流

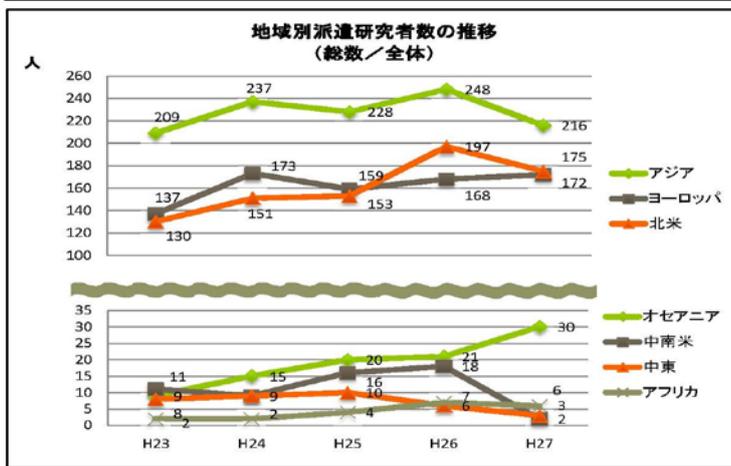
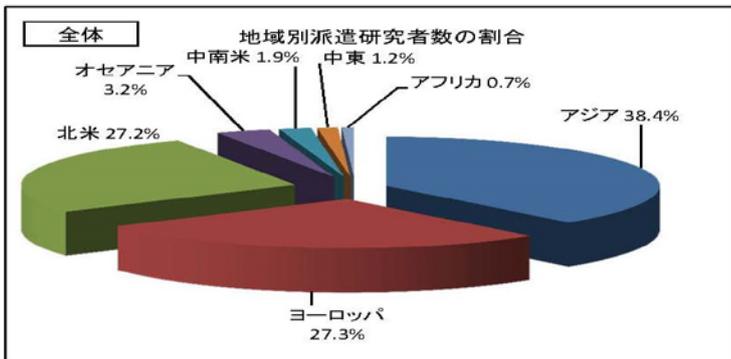
4-3-1 派遣

海外への研究者派遣数については、短期ではアジア地域が最も多く、中・長期では北米地域が最も多いものの、その数は極めて少なかった。

※本調査数は、文部科学省が実施している「国際研究交流の概況」調査に基づき、作成したものである。

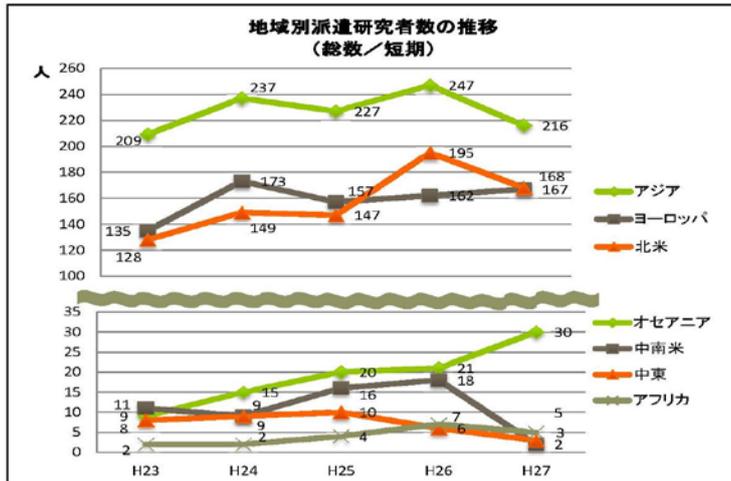
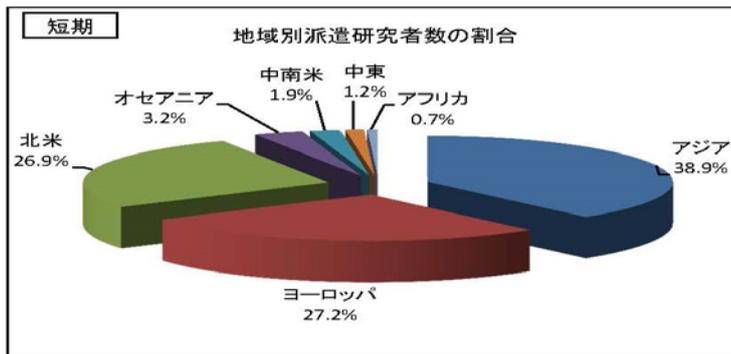
【全体】

地域名	H23	H24	H25	H26	H27	H23-27計・率
アジア	209	237	228	248	216	1,138 (38.4%)
ヨーロッパ	137	173	159	168	172	809 (27.3%)
北米	130	151	153	197	175	806 (27.2%)
オセアニア	9	15	20	21	30	95 (3.2%)
中南米	11	9	16	18	2	56 (1.9%)
中東	8	9	10	6	3	36 (1.2%)
アフリカ	2	2	4	7	6	21 (0.7%)
計	506	596	590	665	604	2,961 (100%)



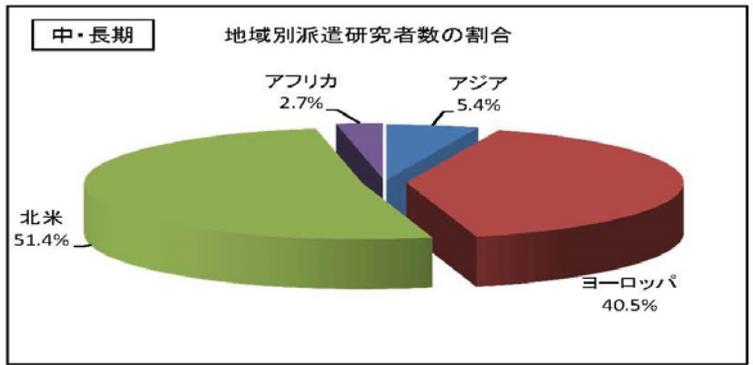
【短期】 …30日以内

地域名	H23	H24	H25	H26	H27	H23-27計・率
アジア	209	237	227	247	216	1,136 (38.9%)
ヨーロッパ	135	173	157	162	167	794 (27.2%)
北米	128	149	147	195	168	787 (26.9%)
オセアニア	9	15	20	21	30	95 (3.2%)
中南米	11	9	16	18	2	56 (1.9%)
中東	8	9	10	6	3	36 (1.2%)
アフリカ	2	2	4	7	5	20 (0.7%)
計	502	594	581	656	591	2,924 (100%)



【中・長期】…31日以上

地域名	H23	H24	H25	H26	H27	H23-27計・率
アジア	0	0	1	1	0	2 (5.4%)
ヨーロッパ	2	0	2	6	5	15 (40.5%)
北米	2	2	6	2	7	19 (51.4%)
オセアニア	0	0	0	0	0	0 (0.0%)
中南米	0	0	0	0	0	0 (0.0%)
中東	0	0	0	0	0	0 (0.0%)
アフリカ	0	0	0	0	1	1 (2.7%)
計	4	2	9	9	13	37 (100%)

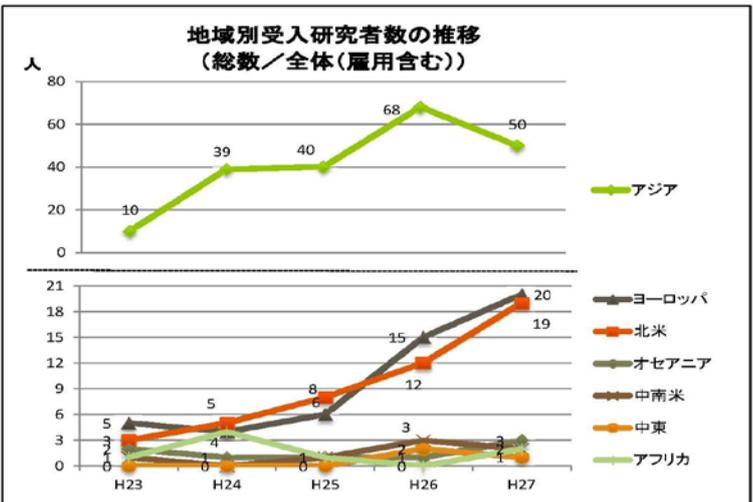
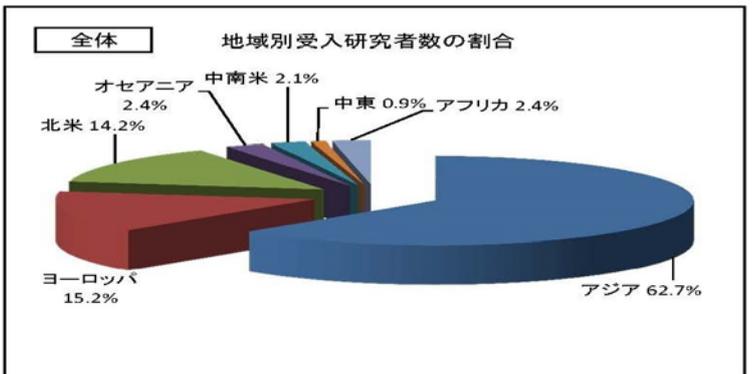


4-3-2 受入

海外からの受入研究者数については、短期、中・長期いずれにおいても、アジア地域が最も多かった。
 ※本調査数は、文部科学省が実施している「国際研究交流の概況」調査に基づき、作成したものである。

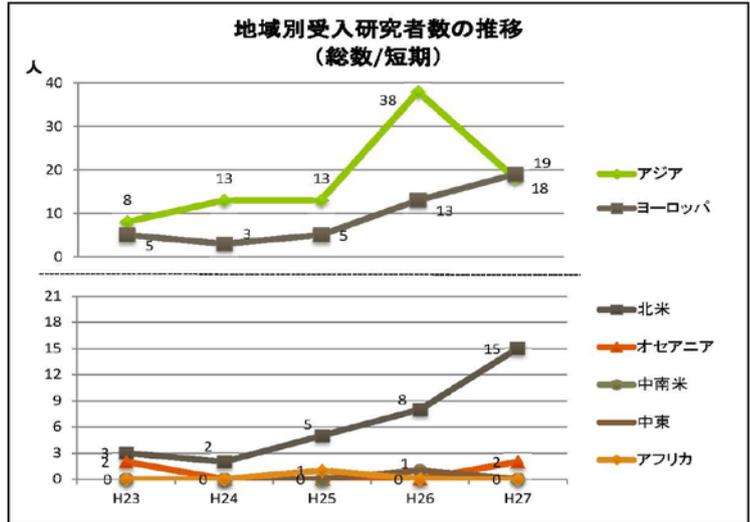
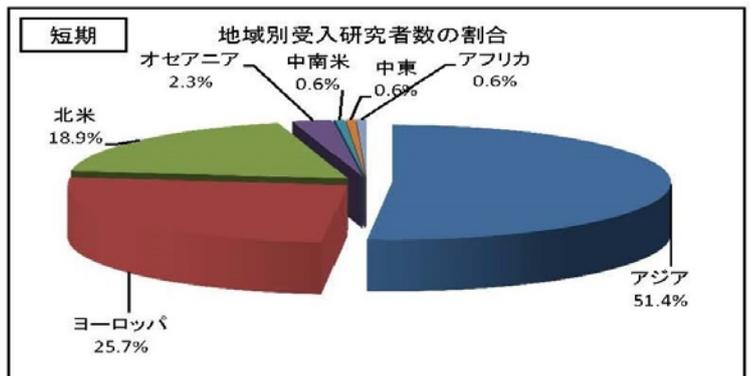
【全体】

地域名	H23	H24	H25	H26	H27	H23-27計・率
アジア	10	39	40	68	50	207 (62.7%)
ヨーロッパ	5	4	6	15	20	50 (15.2%)
北米	3	5	8	12	19	47 (14.2%)
オセアニア	2	1	1	1	3	8 (2.4%)
中南米	1	0	1	3	2	7 (2.1%)
中東	0	0	0	2	1	3 (0.9%)
アフリカ	1	4	1	0	2	8 (2.4%)
計	22	53	57	101	97	330 (100%)



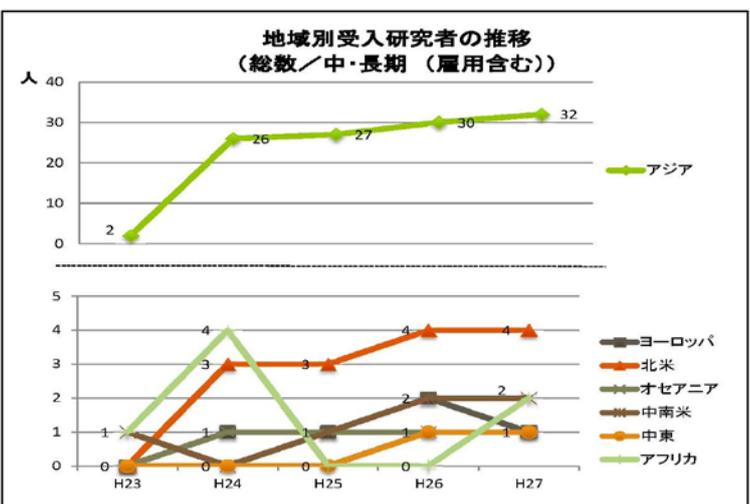
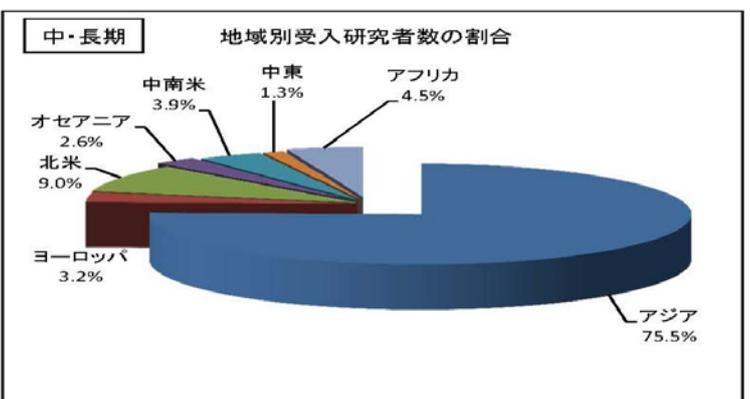
【短期】 …30日以内

地域名	H23	H24	H25	H26	H27	H23-27計・率
アジア	8	13	13	38	18	90 (51.4%)
ヨーロッパ	5	3	5	13	19	45 (25.7%)
北米	3	2	5	8	15	33 (18.9%)
オセアニア	2	0	0	0	2	4 (2.3%)
中南米	0	0	0	1	0	1 (0.6%)
中東	0	0	0	1	0	1 (0.6%)
アフリカ	0	0	1	0	0	1 (0.6%)
計	18	18	24	61	54	175 (100%)



【中・長期】 …31日以上

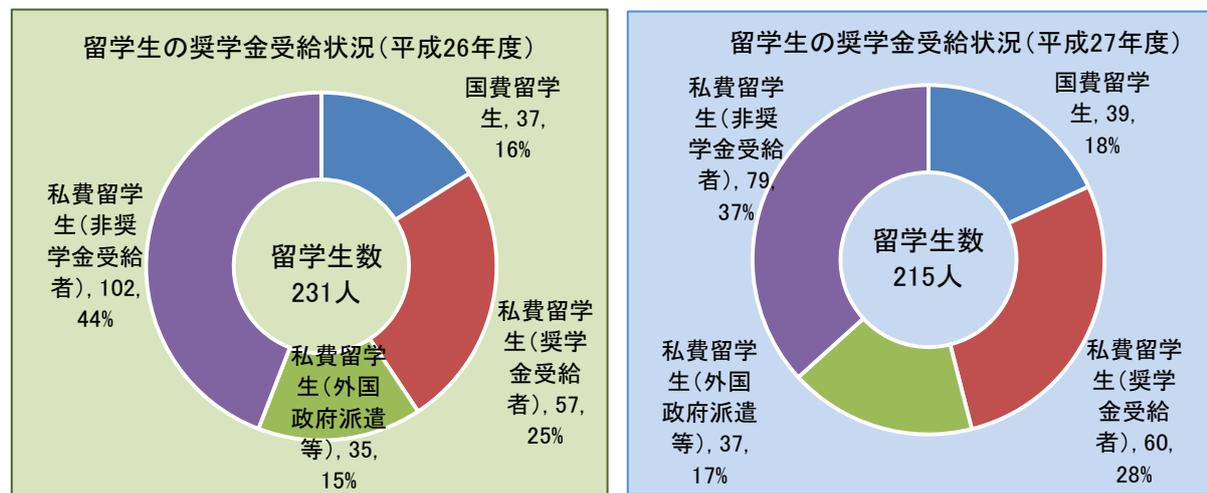
地域名	H23	H24	H25	H26	H27	H23-27計・率
アジア	2	26	27	30	32	117 (75.5%)
ヨーロッパ	0	1	1	2	1	5 (3.2%)
北米	0	3	3	4	4	14 (9.0%)
オセアニア	0	1	1	1	1	4 (2.6%)
中南米	1	0	1	2	2	6 (3.9%)
中東	0	0	0	1	1	2 (1.3%)
アフリカ	1	4	0	0	2	7 (4.5%)
計	4	35	33	40	43	155 (100%)



5. 奨学金

平成26年度の各種奨学金受給状況は、留学生数231人(国費留学生37人、私費留学生194人)中92人が奨学金(国費、外国政府派遣、学習奨励費、財団奨学金等)を受給している。

平成27年度の各種奨学金受給状況は、留学生数215人(国費留学生39人、私費留学生176人)中97人が奨学金(国費、外国政府派遣、学習奨励費、財団奨学金等)を受給している。



5-1 各種奨学金の受給状況

各年度5月1日現在

区分		対象者	受給人数 平成26年度	受給人数 平成27年度	
国費	大学推薦	研究留学生・博士課程	5	9	
		研究留学生・修士課程	6	10	
		研究留学生・研究生	0	2	
		日本語・日本文化研修留学生	3	3	
	国内採用	研究留学生・博士課程	1	1	
		大使館推薦	研究留学生・博士課程	5	3
			研究留学生・研究生	1	2
			教員研修生	1	0
			日本語・日本文化研修留学生	3	3
	学部留学生	12	6		
小計		37	39		
私費	学習奨励費	大学院・博士課程	4	5	
		大学院・修士課程	3	1	
		学部生	0	1	
	小計		7	7	
	財団奨学金	大学院・博士課程	1	2	
		大学院・修士課程	7	6	
		学部生	5	6	
小計		13	14		
合計		57	60		

5-2 私費留学生の奨学金受給比率

平成26年度

(平成26年5月1日現在)

私費留学生数 ()は外国政府派遣生、群馬県費生(聴講生)で外数		左記()内を除いた私費留学生のうち、奨学金受給者数	奨学金受給率
大学院・博士課程	30 (5)	5	16.7%
大学院・修士課程	66 (1)	10	15.2%
学部	25 (29)	5	20.0%
特別聴講学生等	38 (0)	0	0.0%
合 計	159 (35)	20	12.6%

平成27年度

(平成27年5月1日現在)

私費留学生数 ()は外国政府派遣生、群馬県費生(聴講生)で外数		左記()内を除いた私費留学生のうち、奨学金受給者数	奨学金受給率
大学院・博士課程	38 (2)	7	18.4%
大学院・修士課程	48 (0)	7	14.6%
学部	22 (35)	7	31.8%
特別聴講学生等	31 (0)	0	0.0%
合 計	139 (37)	21	15.1%

7. 国際教育・研究センター行事

平成 26 年度

月 日	行 事 内 容
4 月 1 日	留学生生活オリエンテーション (荒牧)
	留学生オリエンテーション (桐生)
4 月～7 月	インターナショナルラウンジの実施 (桐生)
4 月～8 月	前期留学生チューター活動の実施 (荒牧、昭和、桐生)
4 月 16 日	留学生チューターオリエンテーション (桐生)
4 月 23 日	群馬大学留学フェア (荒牧)
4 月 24 日	留学生チューターオリエンテーション (荒牧)
5 月 27 日～5 月 30 日	平成 26 年度日本留学フェア(大学間交流促進プログラム) NAFSA 年次総会参加 (アメリカ サンディエゴ)
6 月 4, 11, 18, 25 日, 7 月 2 日	理工学部サマープログラムへの協力 (桐生) ・ニューヨーク州立大学ストーニーブルック校 (日本文化体験) ・キングモンクット工科大学トンブリ校 (KMUTT) (日本語授業、日本文化体験)
6 月 10 日	サンディエゴ州立大学 (SDSU) 英語研修プログラム第一回オリエンテーション(荒牧)
6 月 11 日	ウーロンゴン大学 (UOW) 英語研修プログラム 第一回オリエンテーション
	SDSU 英語研修プログラム第一回オリエンテーション(桐生)
6 月 21 日	群馬大学外国人留学生等実地研修旅行 (浅草・江戸東京博物館)
6 月 25 日	SDSU 英語研修プログラム第二回オリエンテーション
6 月 27 日	UOW 英語研修プログラム 第二回オリエンテーション
7 月 4 日	進学説明会参加 (主催: ライセンスアカデミー、会場: 群馬ロイヤルホテル)
7 月 12 日	平成 26 年度外国人留学生のための進学説明会 (主催: 日本学生支援機構、東京会場) 参加
7 月 24 日	UOW 英語研修プログラム・SDSU 英語研修プログラム合同 第三回オリエンテーション
8 月 4 日	平成 25 年度伝統文化実践プログラム及び日本語・日本文化研修留学生プログラム (Jプログラム) 修了式 (荒牧)
8 月 6 日～8 月 7 日	Jプログラム研究発表会 (荒牧)
8 月 7 日	UOW 英語研修プログラム・SDSU 英語研修プログラム合同 第四回オリエンテーション
8 月 15 日～9 月 14 日	UOW 大学英語研修 (オーストラリア)
8 月 17 日～8 月 30 日	群馬大学異文化理解プログラム (建国大学校 (韓国))
8 月 17 日～9 月 1 日	協働型プロジェクトワークによる日本研究プログラム

8月29日～8月30日	群馬大学学生国際合同研修（インターナショナルキャンプ） （日光東照宮）
8月31日～9月28日	SDSU 英語研修(アメリカ)
9月17日～9月19日	平成26年度日本留学フェア(大学間交流促進プログラム) EAIE 年次大会参加（チェコ プラハ）
9月30日	日本語オリエンテーション、民間アパートオリエンテーション(荒牧) 日本語オリエンテーション、留学生活オリエンテーション（桐生）
10月～1月	インターナショナルラウンジの実施（桐生） 後期留学生チューター活動の実施（荒牧、昭和、桐生）
10月4日	留学生活、国際交流会館オリエンテーション（荒牧・昭和）
10月18日 ～10月19日	平成26年度日本留学フェア(主催：日本学生支援機構、インドネシア) 参加（10月18日 スラバヤ、10月19日 ジャカルタ）
10月21日	留学生チューターオリエンテーション（荒牧）
10月22日	群馬大学海外留学フェア（桐生）
10月23日	留学生チューターオリエンテーション（桐生）
11月7日	平成26年度全国国立大学法人留学生センター長及び留学生課長等合同会議参加（チサンホテル&コンファレンスセンター新潟）
11月26日～1月28日	留学生サポートデスク活動の実施（荒牧）
12月10日	SDSU 短期英語研修プログラム 第一回オリエンテーション
12月11日	UOW 短期英語研修プログラム 第一回オリエンテーション
12月11日 ～12月12日	平成26年度国立大学法人等国際企画担当責任者連絡協議会参加 （ホテルニュー長崎、長崎大学文教スカイホール）
1月19日	SDSU 短期英語研修プログラム 第二回オリエンテーション
2月9日	SDSU 短期英語研修プログラム 第三回オリエンテーション
2月21日～3月22日	UOW 短期英語研修（オーストラリア）
2月22日～3月7日	群馬大学異文化理解プログラム（建国大学（韓国））
2月28日～3月29日	SDSU 短期英語研修（アメリカ）
3月3日～3月27日	群馬大学異文化理解プログラム（リュブリアナ大学（スロベニア））
3月8日～3月20日	群馬大学異文化理解研修（泰日工業大学（タイ））
3月18日、25日	理工学部機械知能システム理工学科主催「タイ キングモンクット工科大学トンプリ校（KMUTT）学生受入プログラムへの協力（日本語授業、日本文化体験）

平成 27 年度

月 日	行 事 内 容
4 月 4 日	留学生生活・国際交流会館オリエンテーション（荒牧・昭和）
4 月 6 日	日本語オリエンテーション（荒牧）
4 月～8 月	前期留学生チューター活動の実施（荒牧、昭和、桐生）
4 月 22 日	留学生チューターオリエンテーション（桐生）
4 月 24 日	留学生チューターオリエンテーション（荒牧）
5 月 13 日	群馬大学海外留学フェア（荒牧）
5 月 26 日～5 月 29 日	平成 27 年度日本留学フェア（大学間交流促進プログラム） NAFSA 総会参加（アメリカ ポストン）
6 月 9 日	外国人学生のための進学説明会（主催：アクセスリード、会場：渋谷ヒカリエ）
6 月 30 日	キール大学英語研修 第一回オリエンテーション
7 月 1 日	国立大学法人留学生センター留学生指導担当研究協議会参加（東京大学本郷キャンパス）
7 月 3 日	UOW 英語研修プログラム 第一回オリエンテーション
7 月 4 日	進学説明会参加（主催：ライセンスアカデミー、会場：群馬ロイヤルホテル）
7 月 8 日	危機管理オリエンテーション 教職員向け FD、学生向けオリエンテーション （UOW&キール大学英語研修 第二回オリエンテーション）
7 月 12 日	平成 27 年度外国人留学生のための進学説明会（主催：日本学生支援機構、東京会場）参加
7 月 16 日	インターナショナルラウンジの実施（桐生）
7 月 17 日	UOW&キール大学英語研修プログラム 第三回オリエンテーション
8 月 6 日～7 日	J プログラム研究発表会（荒牧）
8 月 8 日	UOW&キール大学英語研修プログラム 第四回オリエンテーション
8 月 14 日～9 月 14 日	UOW 短期英語研修（オーストラリア）
8 月 22 日～9 月 21 日	キール大学短期英語研修（イギリス）
8 月 31 日～9 月 1 日	群馬大学学生国際合同研修（インターナショナルキャンプ）（群馬県みなかみ町）
9 月 16 日～9 月 18 日	平成 27 年度日本留学フェア（大学間交流促進プログラム） EAIE 年次大会参加（イギリス グラスゴー）
9 月 26 日	国際交流会館オリエンテーション（荒牧、昭和）
9 月 28 日	民間アパートオリエンテーション（荒牧）
9 月 30 日	日本語・留学生生活オリエンテーション（荒牧）
10 月～1 月	後期留学生チューター活動の実施（荒牧、昭和、桐生）

10月1日	留学生生活オリエンテーション（桐生） 学生、国費留学生受入式
10月2日	日本語オリエンテーション（桐生）
10月16日	留学生チューターオリエンテーション（桐生）
10月19日	留学生チューターオリエンテーション（荒牧）
10月28日	群馬大学海外留学フェア（桐生）
11月6日	平成27年度全国国立大学法人留学生センター長及び留学生課長等合同会議参加（マリエールオークパイン那覇）
12月1日	SDSU 英語研修プログラム 第一回オリエンテーション
12月7日	インターナショナルラウンジの実施（桐生）
12月17日 ～12月18日	平成27年度国立大学法人等国際企画担当責任者連絡協議会参加（かがわ国際会議場、香川大学講堂）
1月27日	SDSU 英語研修プログラム 第二回オリエンテーション
2月8日	SDSU 英語研修プログラム 第三回オリエンテーション
2月28日～3月13日	群馬大学異文化理解プログラム(リュブリアナ大学（スロベニア）)
2月29日～3月3日	国際教育交流フェア APAIE 年次大会参加（オーストラリア メルボルン）
3月5日～3月28日	SDSU 英語研修（アメリカ）
3月8日～3月17日	群馬大学異文化理解プログラム（台北教育大学（台湾））
3月13日～3月24日	群馬大学異文化理解プログラム（泰日工業大学（タイ））
3月22日、3月24日	大学院生海外研究派遣助成 帰国報告会

平成 26・27 年度 群馬大学国際教育・研究センター活動報告書

編集・発行 / 群馬大学 国際教育・研究センター活動報告書編集委員会

〒371-8510 群馬県前橋市荒牧町 4 - 2